

# シラバス

---

令和7(2025)年度



北海道当別高等学校

# 令和7(2025)年度 北海道当別高等学校シラバス

## 目 次

・国語	p. 1~8
・地歴公民	p. 9~14
・数学	p. 15~24
・理科	p. 25~30
・保健体育	p. 31~35
・芸術	p. 36~37
・英語	p. 38~46
・家庭	p. 47~49
・情報	p. 50
・農業	p. 51~63
・商業	p. 64~65
・家庭(専門科目)	p. 66~81
・総合的な探究の時間	p. 82~84

※目次の各科目をクリックすると、その科目のシラバスに飛ぶことができます。

教 科	国語
科 目 名	現代の国語
使用教科書	新編現代の国語（大修館書店）
副教材等	書きたくなるアシスト常用漢字 （数研出版） 新編 現代の国語 学習ノート
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普 通 科	全員	○		
	選択			
園芸デザイン科		○		
家 政 科	全員	○		
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。言葉を通して他者や社会に関わろうとする心を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○	○	○	

### 3.学習の留意点

- 1) 授業に積極的に参加しましょう。また、漢字テストや課題に前向きに取り組み、知識を確実に積み重ねていきましょう。
- 2) わからない語を辞書等で調べ、新しく得た知識は積極的に日常生活に活かしていきましょう。
- 3) だれが見てもわかるノート（A4）を作りましょう。プリントは配布直後すぐに必ずノートに貼ること。※原則、再配布はなし。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	文章の内容や表現の特色を理解し、それを的確に表現できるか、また、常識的な語いを身につけ、正しく表記できるかについて、各種テストや提出物の出来で評価する	学習している知識や技能を適切な場面で自己の表現に活用しているか、そのために深く豊かに思考しているかについて、活動の様子や提出物の表現で評価します。	授業に真剣に臨み、自ら学び積極的に表現しようとする姿勢について活動観察で評価します。居眠りや私語、忘れ物、未提出課題等がある場合、C評価につながります。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	「コミュニケーションは技術だ」 筆者のコミュニケーションに対する考え方を読み取る。	評価期間
	5	「ことばの使い分け・正しく書く・文を整え文をつなぐ」 敬語の正しい使い方や類義語のニュアンスの違いを理解し、適切に使い分ける。	
	6	「聞き取りのレッスン」 大切なことを落とさずに正確に聞く。	
	7		
二 学 期	8	「伝わりやすい話そう」 伝わりやすい話し方を意識し実践する。	中間評価期間  期末評価期間 ※冬季休業期間
	9	「説明のしかたを捉えよう」「生きることと食べることの意味」 順序を表す言葉や接続表現、問題提起と答えに着目して読み、説明のしかたの特徴を考える。	
	10	「絵や写真を説明しよう」	
	11	絵や写真などの情報を説明する文章を書く。	
	12		
三 学 期	1	「論理の展開を読み取ろう」「オカピの胃袋はいくつか」 対比の関係や論理展開に注意して読む。	学年末評価期間
	2	「本のPOPを作ろう」 POPに必要な情報を整理し、伝えたいことを明確にする	
	3		

教 科	国語
科 目 名	現代の国語
使用教科書	新編現代の国語（第一学習社）
副教材等	書きたくなるアシスト常用漢字 （数研出版）
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科			○	
家政科	全員		○	
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。言葉を通して他者や社会に関わろうとする心を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- 1) 授業に積極的に参加しましょう。また、漢字テストや課題に前向きに取り組み、知識を確実に積み重ねていきましょう。
- 2) わからない語を辞書等で調べ、新しく得た知識は積極的に日常生活に活かしていきましょう。
- 3) だれが見てもわかるノート（A4）を作りましょう。プリントは配布直後すぐに必ずノートに貼ること。※原則、再配布はなし。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	文章の内容や表現の特色を理解し、それを的確に表現できるか、また、常識的な語いを身につけ、正しく表記できるかについて、各種テストや提出物の出来で評価します。	学習している知識や技能を適切な場面で自己の表現に活用しているか、そのために深く豊かに思考しているかについて、活動の様子や提出物の表現で評価します。	授業に真剣に臨み、自ら学び積極的に表現しようとする姿勢について活動観察で評価します。居眠りや私語、忘れ物、未提出課題等がある場合、C評価につながります。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	「スピーチで自分を伝える」 自分の意見を聞き手にわかりやすく伝える。	評価期間
	5		
	6	「言葉の海のオノマトペ」 オノマトペの特徴を理解し、音としての言葉の興味を広げる。	
	7	情報の検索と選択 必要な情報を探す方法を理解し、引用を適切に活用できるようになる。	
二 学 期	8	理想の修学旅行をプレゼンする 効果的なプレゼンテーションを考え、実践する。	中間評価期間
	9		
	10	接遇表現 自分の立場に応じて話し方を工夫する	期末評価期間 ※冬季休業期間
	11	相手に伝わる案内をする 相手に配慮しながら目的に沿った案内方法を理解する。	
	12		
三 学 期	1	「人はなぜ仕事をするのか」 筆者が述べる仕事の本質を読み取り、自分の将来について考える。	学年末評価期間
	2		
	3	社会に対する意見文を書く 意見文の書き方を理解し、実践する。	

教 科	国語
科 目 名	言語文化
使用教科書	新編言語文化 (大修館書店)
副教材等	新編言語文化 学習ノート (大修館書店)
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員	○		
	選択			
園芸デザイン科		○		
家政科	全員	○		
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

社会生活に必要な言語知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に関心を持ち、言葉を通して他者と関わり合う態度を養う。また、読書に親しみ自己を向上させながら深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることが出来るようになる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
			○		○	○

### 3.学習の留意点

- 1) 授業に主体的に取り組みましょう。知識、技能を確実に積み重ねていくために、小テストや課題に真剣に臨みましょう。
- 2) 古典の文章が理解できるようになるために語彙力を伸ばし、すらすらと音読できるようになりましょう。
- 3) 後で見返しても授業内容がよくわかるノート、プリントづくりを心がけ、配布物は2穴ファイルに順番に綴じましょう。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	
評価方法	古典を読むためのきまりや古典特有の表現及び我が国の特徴的な言語文化の歴史的背景についての基礎的理解を、各種テストや提出物の出来で評価します。	文章内容や表現の特色について自分の考えに基づき解釈や批評をしているか、自分の思いを適切に伝える工夫をしているか、活動の様子や提出物の表現内容で評価します。	授業に真剣に臨み、自ら学び積極的に表現しようとする姿勢について活動観察で評価します。居眠りや私語、忘れ物、未提出課題等がある場合、C評価につながります。	A:十分満足できる状況	三観点を総括して5段階で評価する。
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備考
一 学 期	4	言葉の豊かさを発見する ドリアン助川『言葉の森を育てよう』 ☆阿辻哲次『漢字と仮名の使い分け』→仮名文字の成り立ち	☆現代の国語と学習内容を連携
	5	古文の特徴や決まりを知り、古典を受け継ぐ理由を探る 「いろは歌」、☆古文冒頭選、 「児のそら寝」←歴史的仮名遣い	☆語読テスト 単元テスト
	6	現代小説に受け継がれる日本語の文体や表現の特色を知る 川上弘美『水かまきり』→☆オノマトペの学習、方言の派生	☆現代の国語と学習内容を連携 単元テスト
	7	詩歌の創作を通して表現に親しむ 短歌のきまりを復習し、創作に挑戦する →当別こども百人一首への参加	評価期間 ※夏季休業課題
二 学 期	8	日本独特の自然の味わい方に思いをめぐらす 黛まどか『季節の言葉と出会う』→言語文化の窓:季語の学習	単元テスト
	9	古代から現代に至るまでの、四季折々の詩歌を味わう 「詩歌の調べ」→さまざまな詩歌の形式、時代、構成や表現の特色、作品の季節感や作者の心情	仮評価期間
	10	小説の構成をとらえ、登場人物の心情変化の読み取りを学ぶ 芥川龍之介『羅生門』→内容解釈を深める原典との比較	単元テスト
	11	日本人の生活に生きている漢語や漢文由来の表現に親しむ 加藤徹「漢文のすすめー未来を考えるヒント」	評価期間 訓読小テスト
	12	日本文化の特色への理解を深め、生活の中の実例に気づく デービッド・アトキンソン『足し算の文化』 →年々年初の生活で日本文化を再発見する	※冬季休業課題
三 学 期	1	現代に受け継がれる随筆のおもしろさを味わう 兼好法師『徒然草』より「高名の木登り」「奥山に猫またといふもの」、清少納言『枕草子』より「にくきもの」	単元テスト
	2		学年末評価期間
	3	日本語の中に生きる故事成語を知る 「蛇足」「借虎威」の訓読と内容理解→言語文化の窓:故事成語に親しむ	レポート課題

教 科	国語
科 目 名	言語文化
使用教科書	新編言語文化 (第一学習社)
副教材等	
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科			○	
家政科	全員		○	
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

社会生活に必要な言語知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に関心を持ち、言葉を通して他者と関わり合う態度を養う。また、読書に親しみ自己を向上させながら深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることが出来るようになる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
			○		○	○

### 3.学習の留意点

- 1) 授業に主体的に取り組みましょう。知識、技能を確実に積み重ねていくために、小テストや課題に真剣に臨みましょう。
- 2) 古典の文章が理解できるようになるために語彙力を伸ばし、すらすらと音読できるようになりましょう。
- 3) 後で見返しても授業内容がよくわかるノート、プリントづくりを心がけ、配布物は2穴ファイルに順番に綴じましょう。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	古典を読むためのきまりや古典特有の表現及び我が国の特徴的な言語文化の歴史的背景についての基礎的理解を、各種テストや提出物の出来で評価します。	文章内容や表現の特色について自分の考えに基づき解釈や批評をしているか、自分の思いを適切に伝える工夫をしているか、活動の様子や提出物の表現内容で評価します。	授業に真剣に臨み、自ら学び積極的に表現しようとする姿勢について活動観察で評価します。居眠りや私語、忘れ物、未提出課題等がある場合、C評価につながります。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備考
一 学 期	4	「狐借虎威」(『戦国策』)	訓読復習テスト
	5	故事成語【調べ学習】	レポート提出
	6	『方丈記』(鴨長明)	単元テスト
	7	折句を用いて短歌を作る 伝統と文化	評価期間 ※夏季休業課題
二 学 期	8	『よだかの星』(宮沢賢治)	単元テスト
	9		仮評価期間
	10	唐詩の世界・漢詩のきまり	単元テスト
	11	『枕草子』(清少納言)	評価期間
三 学 期	12		単元テスト
	1	『奥の細道』(松尾芭蕉)	単元テスト
	2 3		学年末評価期間

教 科	国語
科 目 名	文学国語
使用教科書	新編文学国語 (大修館書店)
副教材等	書きたくなるアシスト 常用漢字(数研出版)
単 位 数	4

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員		○	
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化について理解を深める。  
 深い共感性や豊かな想像力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ深める。  
 我が国の言語文化の担い手として言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
		○	○		○	○

### 3.学習の留意点

- 1) 授業に積極的に参加して小テストや課題に前向きに取り組み、知識を確実に積み重ねていきましょう。
- 2) わからない語は辞書等で調べ、自分の日常生活にも活用しましょう。そうすることで、語いが豊かになります。
- 3) だれが見てもわかるノートを書きましょう。また、プリントは原則、再配布しません。自己管理を徹底しましょう。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	文学に関する知識や表現技法等の基礎的理解、また、常識的な語いの習得と正しい表記能力を小テスト、単元テスト、課題の正確さで評価します。	作品に関する自分の深い思考や豊かな想像の内容を適切な表現で伝えることができる。他者の意見を汲み、自分の考えを広げたり深めたりできる。これらを授業を通して評価します。	自ら学び取ろうと積極的に取り組むこと。授業は自分自身を成長させる時間だと捉えること。居眠りや私語、忘れ物、未提出課題等がある場合、C評価につながります。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備考	
一 学 期	4	文学の扉を開こう1～4	1 文学的な文章とは？ 2 場面設定を押さえる 3 場面の展開を追う 4 心情・情景描写を読み取る…小説の読み方を確認する	
	5	小説を楽しむ(一) 文学の扉を開こう5	『晴れた空の下で』(江國香織) 上記小説について感動したことを共有する	
	6	古典の世界1 文化を感じる	児の飴食ひたること(『沙石集』) 『夏の月』(高階秀爾)	
	7	古典の世界2 文学の扉を開こう7	月やあらぬ(『伊勢物語』) 短歌・俳句の構成と表現	
	7	短歌・俳句に親しむ	短歌10首(当別子ども百人一首に向けて)	
				評価期間 ※夏季休業課題
	二 学 期	8	小説を楽しむ(二)	『おぼろ月』(藤沢周平)
9		名作を読む(一)	『山月記』(中島敦)	
10		《書く》物語を紡ぐ②	名曲から物語を書こう	
11		古典の世界4 名作を読む(二)	桐壺・若紫(『源氏物語』) 『こころ』(夏目漱石)	
12		表現を味わう	『ぼくのお母さん』(川上未映子)	
				仮評価期間 評価期間 ※冬季休業課題
三 学 期	1	《書く》思いを言葉に①	エッセイを書こう	
	2	《書く》思いを言葉に②	手紙を書こう	
	3			
			学年末評価期間	

教 科	国語
科 目 名	文学国語
使用教科書	新編文学国語 (大修館書店)
副教材等	書きたくなるアシスト 常用漢字(数研出版)
単位数	4

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				○
家政科	全員			○
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化について理解を深める。  
 深い共感性や豊かな想像力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ深める。  
 我が国の言語文化の担い手として言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
		○	○		○	○

### 3.学習の留意点

- 1) 授業に積極的に参加して小テストや課題に前向きに取り組み、知識を確実に積み重ねていきましょう。
- 2) わからない語は辞書等で調べ、自分の日常生活にも活用しましょう。そうすることで、語いが豊かになります。
- 3) だれが見てもわかるノートを書きましょう。また、プリントは原則、再配布しません。自己管理を徹底しましょう。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	文学に関する知識や表現技法等の基礎的理解、また、常識的な語いの習得と正しい表記能力を小テスト、単元テスト、課題の正確さで評価します。	作品に関する自分の深い思考や豊かな想像の内容を適切な表現で伝えることができる。他者の意見を汲み、自分の考えを広げたり深めたりできる。これらを授業を通して評価します。	自ら学び取ろうと積極的に取り組むこと。授業は自分自身を成長させる時間だと捉えること。居眠りや私語、忘れ物、未提出課題等がある場合、C評価につながります。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備考
一 学 期	4	文学の扉を開こう1～4	<b>評価期間</b>  ※夏季休業課題
	5	小説を楽しむ(一) 文学の扉を開こう5 古典の世界1 文化を感じる	
	6	古典の世界2	
	7	文学の扉を開こう7 短歌・俳句に親しむ	
	8	小説を楽しむ(二)	
	9	名作を読む(一)	
	10	《書く》物語を紡ぐ②	
二 学 期	11	古典の世界4	<b>仮評価期間</b>  <b>評価期間</b>  ※冬季休業課題
	12	名作を読む(二) 《書く》思いを言葉に①	
	1	《書く》思いを言葉に②	
	1	手紙を書こう	
三 学 期	1		<b>学年末評価期間</b>



教 科	国語
科 目 名	国語表現
使用教科書	国語表現（東京書籍）
副教材等	国語表現学習課題集（東京書籍） 書きたくなるアシスト常用漢字（数研出版）
単 位 数	4

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			○
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- ・コミュニケーションに不可欠な表現力を豊かにする姿勢を身につけ、他者との関わりの中で伝える力を高める。
- ・スピーチやグループ活動を通して、人間にとって根源的な喜びである「他者とつながる喜び」を味わい、表現の工夫や受けとる側の姿勢を学び深める。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○			○	○

### 3.学習の留意点

- 1) 授業に積極的に参加して小テストや課題に前向きに取り組み、知識を確実に積み重ねていきましょう。
- 2) わからない語は辞書等で調べ、自分の日常生活にも活用しましょう。そうすることで、語いが豊かになります。
- 3) だれが見てもわかるノートを書きましょう。また、プリントは原則、再配布しません。自己管理を徹底しましょう。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	言葉に関する知識や表現技法等の基礎的理解、また、常識的な語いの習得と正しい表記能力を小テスト、単元テスト、課題の正確さで評価します。	課題に対して深く思考し、それを適切な表現で豊かに伝えることができる。他者の意見を汲み、自分の考えを広げたり深めたりできる。これらを授業を通して評価します。	自ら学び取ろうと積極的に取り組むこと。授業は自分自身を成長させる時間だと捉えること。居眠りや私語、忘れ物、未提出課題等がある場合、C評価につながります。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備考
一 学 期	4	・表現とは何か ・分かりやすく説明しよう ・問いを考えよう ・情報活用力を身につけよう ・「自分」を表現しよう ・傾聴・共感ゲーム、ジェスチャーゲームなどを通して表現を学ぶ際に重要なことを体験する。 ・情報を整理して伝達するときの基本を学ぶ。 ・インタビューを実践し、問いのもつ力や重要性を学習するとともに、インタビューを文章で再現することで構成力を養う。 ・インタビューを基に広報資料を作成する技術を磨く。 ・面接時の自己PRに繋がるよう、自分の魅力がしっかりと伝わる表現力を学ぶ。	<b>評価期間</b>  ※夏季休業課題
	5		
	6		
二 学 期	8	・論理的な文章を書こう ・話し合う力を身につけよう ・説得力のある提案をしよう ・与えられたテーマや資料をもとに自分の思い・考えを「主張」として組み立て「根拠」を明確にしながら「論理的な構成」の文章にまとめる力を養う。 ・ファシリテーションの技法を学ぶ。 ・今後の当別高校をより良くするための企画を提案しプレゼンテーションを行う。	<b>仮評価期間</b>  <b>評価期間</b>
	9		
	10		
	11		
三 学 期	12	・表現を楽しもう ・替え歌の歌詞を創作する。	<b>学年末評価期間</b>
	1		

教 科	国語
科 目 名	ことばの世界
使用教科書	
副教材等	
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			○
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

言葉による見方・考え方を学びながら、言語活動を通して生涯にわたる社会生活に必要な言葉の知識や技能を身につけるとともに、言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする姿勢を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
		○	○		○	○

### 3.学習の留意点

- 1) 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の言語活動が主体の選択科目です。積極的に各活動に参加しましょう。
- 2) また、批評の力も高めていきましょう。相互に良い点だけでなく改善点も指摘し合うよう努めましょう。
- 3) プリントの管理を徹底してください、ファイルに挟みましょう。学習成果の蓄積を大切にしてください。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	日本語表現の特色を理解し、社会人として常識的な語彙を身に付け、的確に表現できるか、また、正しく表記できるかについて、提出物の出来や小テストで評価します。	身に付けた語彙や表現技法を場面等に応じて適切に選択して表現しているか、また、他者の表現について自己の考えをもとに批評できるか、授業の活動で評価します。	授業に真剣に臨み、自ら学び積極的に表現しようとする姿勢について、活動観察及び学習成果物（提出物）で評価します。また、忘れ物、未提出課題等は評価を減じます。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備考
一 学 期	4	「語彙力を豊かにする」 同音異義語、同訓異字、和語・漢語外来語等の使い分け、本から語彙を拾い意味を理解する	評価期間
	5	「語感を磨く」	
	6	目的、場面、相手に応じた適切な表現、言葉遣い	
	7	「古典に学ぶ」 古典作品の成立背景や、作者人物像とその表現特徴の理解	
二 学 期	8	「他者を動かす」	仮評価期間
	9	自身の心情を表すとともに相手に伝わる文章を書く（[今、あなたに贈りたい漢字コンテスト]参加）	
	10	「語感を磨く2」 ことわざ、慣用句、故事成語の由来と、語義の変遷についての調べ学習	評価期間
	11	「表現活動を楽しむ」	
	12	短編小説の創作	
三 学 期	1	「続 表現活動を楽しむ」 他者作品の鑑賞	学年末評価期間

教 科	地理歴史
科 目 名	地理総合
使用教科書	高等学校 新地理総合 (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院編集部編)
副教材等	なし
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員	○		
	選択			
園芸デザイン科		○		
家政科	全員	○		
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

社会事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ちグローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有意な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○			

### 3.学習の留意点

- ・授業に積極的に参加して下さい。配布プリントや単元テストなどの整理も各自で工夫を凝らして取り組んで下さい。
- ・状況によりGoogleClassroomを利用することも考えられます。課題や連絡に使用する場面が考えられます。
- ・復習に力を入れ、継続的に学習して下さい。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	単元テストや評価期間試験、授業での取り組みなどから評価を行います。	提出物や授業での取り組みなどから評価を行います。	提出物の提出状況、またその内容、授業への参加態度等から評価を行います。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	地理の基礎：都道府県名、世界の主な国名、大陸と大洋、地図記号、	単元テスト
	5	地球上の位置と時差、地図の種類：地球上の位置、時差、図法	単元テスト
	6	地図の役割と種類：主題図、地理情報システム	評価期間試験
	7	世界の地形と人々の生活：大地形、変動帯、河川の地形、海岸の地形	単元テスト
二 学 期	8	世界の地形と人々の生活：大地形、変動帯、河川の地形、海岸の地形	単元テスト
	9	世界の気候と人々の生活：気温、降水量、大気循環、植生、雨温図	評価期間試験
	10	世界の気候と人々の生活：熱帯、乾燥帯、温帯、	単元テスト
	11	世界の気候と人々の生活：亜寒帯、寒帯、オセアニアの自然環境、	評価期間試験
	12	オセアニア：オーストラリアの農業、産業	単元テスト
三 学 期	1	東南アジア：東南アジアの自然地形	単元テスト
	2	東南アジア：東南アジアの食文化	評価期間試験
	3	防災：日本の気候、地形、防災対策	単元テスト

教 科	地理歴史
科 目 名	歴史総合
使用教科書	詳解歴史総合（東京書籍）
副教材等	なし
単位数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員		○	
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○			

### 3.学習の留意点

授業でプリントを配布しますので、整理を各自行ってください。整理するためのファイルを準備してください。  
Google classroomを利用します。課題や連絡に使用しますので、確認できるようにしておいで下さい。  
復習に力を入れ、継続的に学習してください。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	単元テストや提出物や授業での取り組みなどから評価を行います。	単元テストや提出物や授業での取り組みなどから評価を行います。	提出物の提出状況、授業への参加態度、提出物の内容等から評価を行います。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	歴史の扉（歴史と私たち、歴史の特質と資料）	単元テストを行います。実施する際は連絡します。
	5	近代化と私たち（近代化への問い・結びつく世界と日本の開国）	
	6	近代化と私たち（国民国家と明治維新）	
	7	近代化と現代的な諸課題	
二 学 期	8・9	国際秩序の変化や大衆化と私たち（国際秩序の変化や大衆化への問い・第一次世界大戦と大衆社会）	単元テストを行います。実施する際は連絡します。
	10・11	国際秩序の変化や大衆化と私たち（経済危機と第二次世界大戦）	
	12	国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	
三 学 期	1・2	グローバル化と私たち（グローバル化への問い・冷戦と世界経済） グローバル化と私たち（世界の秩序変容と日本）	単元テストを行います。実施する際は連絡します。
	3	現代的な諸課題の形成と展望	

教 科	地理歴史
科 目 名	歴史総合
使用教科書	詳解歴史総合（東京書籍）
副教材等	なし
単位数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				○
家政科	全員			○
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○			

### 3.学習の留意点

授業でプリントを配布しますので、整理を各自行ってください。整理するためのファイルを準備してください。

Google classroomを利用します。課題や連絡に使用しますので、確認できるようにしておいで下さい。

復習に力を入れ、継続的に学習してください。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	単元テストや提出物や授業での取り組みなどから評価を行います。	単元テストや提出物や授業での取り組みなどから評価を行います。	提出物の提出状況、授業への参加態度、提出物の内容等から評価を行います。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	歴史の扉（歴史と私たち、歴史の特質と資料）	単元テストを行います。実施する際は連絡します。
	5	近代化と私たち（近代化への問い・結びつく世界と日本の開国）	
	6	近代化と私たち（国民国家と明治維新）	
	7	近代化と現代的な諸課題	
二 学 期	8・9	国際秩序の変化や大衆化と私たち （国際秩序の変化や大衆化への問い・第一次世界大戦と大衆社会）	単元テストを行います。実施する際は連絡します。
	10・11	国際秩序の変化や大衆化と私たち（経済危機と第二次世界大戦）	
	12	国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	
三 学 期	1	グローバル化と私たち	単元テストを行います。実施する際は連絡します。

教 科	地理歴史
科 目 名	世界史探究
使用教科書	高校世界史（山川出版社）
副教材等	なし
単位数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			○
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

社会的事象の歴史の見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての素質・能力を育成することをめざす。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○			

### 3.学習の留意点

授業に積極的に参加して下さい。配布するプリントや単元テストなどの整理も各自で工夫をこらして取り組んで下さい。  
 復習に力を入れて、継続的に学習して下さい。  
 状況によりGoogle Classroom を利用することがあります。課題や連絡に使用する場面が考えられます。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	単元テストや評価期間試験の取り組み状況などから評価を行います。	単元テストや評価期間試験の取り組み、授業への参加などから評価を行います。	提出物の提出状況、提出物の内容、授業への参加態度などから評価を行います。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	・世界恐慌とヴェルサイユ体制：世界恐慌とヴェルサイユ体制の崩壊分析	単元テスト
	5	・第2次世界大戦：第2次世界大戦がもたらした意義について探究	単元テスト
	6	・新しい国際秩序の形成：戦後の国際秩序と東西冷戦・アジア諸国独立	評価期間試験
	7	・冷戦の展開：冷戦の展開について多面的、多角的に考察し冷戦の意義を理解する。	単元テスト
二 学 期	8	・第三世界の台頭とキューバ革命 ：アジアアフリカ諸国の非同盟運動やスエズ戦争が植民地体制にどのような影響を与えたかを考える。	単元テスト
	9	・冷戦体制の動揺：ベトナム戦争の過程と結果及び、アメリカの戦争介入について考える。	単元テスト
	10	・産業構造の変容：\$ショック、オイルショック後西側諸国が経済政策を変化させたことについて考える。	評価期間試験
	11	・冷戦の終結：冷戦の展開について多面的多角的に考察し冷戦の意義を理解する。	単元テスト
	12	・今日の世界：旧社会主義国と共産党の単一支配を維持した中国の民族問題を考察する。	評価期間試験
三 学 期	1	・現代文明の諸相：原子力や情報科学技術、医学や生物学など20世紀の革新とそれらがもたらした影響を理解する。	単元テスト 学年末評価期間

教 科	公民
科 目 名	公共
使用教科書	『公共』（実教出版）
副教材等	なし
単位数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員		○	
	選択			
園芸デザイン科			○	
家政科	全員		○	
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有意な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。
---

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○			○		○

### 3.学習の留意点

授業でプリントを配布しますので、整理を各自行ってください。整理するためのファイルを準備してください。 Google classroomを利用します。課題や連絡に使用しますので、確認できるようにしておいで下さい。 復習に力を入れ、継続的に学習してください。
---

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	単元テストや提出物や授業での取り組みなどから評価を行います。	単元テストや提出物や授業での取り組みなどから評価を行います。	提出物の提出状況、授業への参加態度、提出物の内容等から評価を行います。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	社会を作る私たち（青年期・自己形成の課題・職業生活と社会参加）	単元の修了後、単元テストを行います。
	5	人間としてよく生きる（動機説・功利主義）	
	6	他者とともに生きる（公正）・民主政治の倫理（平等）	
	7	民主国家における基本原理（民主政治の成立・民主政治の基本原理）	
二 学 期	8・9	民主国家における基本原理（民主政治の仕組みと課題）	単元の修了後、単元テストを行います。
		日本国憲法の基本的性格 （法の意義及び役割・日本国憲法の成立と基本的性格）	
	10	（自由権・平等権）	
	11	（社会権・新しい人権）	
	12	現代の経済社会（経済主体と経済活動の意義・市場の仕組み） （市場の失敗・国民所得）	
三 学 期	1・2	日本経済の特質と国民生活（消費者問題）	単元の修了後、単元テストを行います。
		3	

教 科	公民
科 目 名	政治・経済
使用教科書	『詳述政治・経済』（実教出版）
副教材等	なし
単位数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			○
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追求したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○			○

### 3.学習の留意点

授業に積極的に参加して下さい。配布するプリントや単元テストなどの整理も各自で工夫をこらして取り組んで下さい。  
 復習に力を入れて、継続的に学習して下さい。  
 状況によりGoogle Classroom を利用することがあります。課題や連絡に使用する場面が考えられます。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	
評価方法	単元テストや評価期間試験の取り組み状況などから評価を行います。	単元テストや評価期間試験の取り組み、授業への参加などから評価を行います。	提出物の提出状況、提出物の内容、授業への参加態度などから評価を行います。	A:十分満足できる状況	三観点を総括して5段階で評価する。
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	民主政治の基本原則（政治と法・世界の政治制度）	単元の修了後、単元テストを行います。
	5	日本国憲法の基本的性格（日本国憲法の成立・平和主義）	
	6	日本の統治機構（立法・行政・司法・地方自治）	
	7	現代日本の政治（戦後政治の歩み・選挙制度）	
二 学 期	8・9	現代経済のしくみ（経済社会の形成と変容・市場機構・現代の企業）	単元の修了後、単元テストを行います。
	10	現代経済の仕組み（国民所得と経済成長・金融のしくみ・財政のしくみ）	
	11	現代経済と福祉の向上（労使関係と労働条件の改善・社会保障の役割）	
	12	現代日本における諸課題の探究	
三 学 期	1	現代日本における諸課題の探究	単元の修了後、単元テストを行います。



教 科	数学
科 目 名	数学Ⅰ
使用教科書	新高校の数学Ⅰ (数研出版)
副教材等	ポイントノート数学Ⅰ (数研出版)
単 位 数	4

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員	○		
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。また、数学を通して6の力に代表されるさまざまなコンピテンシーの育成に努める。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・教科書以外に問題集、ノートを用意し、数学的に式を読み、解答までの記述を丁寧かつ正しく書くことを身につける。
- ・授業時間以外にも数学を学習する時間を設ける。
- ・習熟度で2つのグループに分けて授業を行う。(評価期間ごとグループ替えを考慮する)

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	評価期間テスト	評価期間テスト	授業態度・意欲・姿勢 ノート・プリント類・問 題集の提出	A:十分満足できる状況	
	小テスト	小テスト		B:概ね満足できる状況	
	ノート・プリント・問題 集	ノート・プリント・問題 集の取組み状況		C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	数と式の計算 計算の基本 単項式と多項式の加法、減法、乗法 展開の公式	基礎力診断テスト  評価期間
	5	因数分解 展開と因数分解の工夫 混合を含む式の計算 実数	
	6	一次不等式 一次方程式 不等式 不等式の解	
	7	二次関数のグラフ 関数 一次関数のグラフ 二次関数のグラフ	
二 学 期	8	二次関数の最大値、最小値	評価期間
	9	グラフと二次方程式 二次不等式	
	10	三角比 直角三角形 三角比 三角比の利用	
	11	相互関係 鈍角の三角比	
三 学 期	12	正弦定理 余弦定理 三角形の面積	評価期間
1	集合と命題 集合 命題と集合 必要条件と十分条件		
2	データの分析 データの整理 データの代表値		
3	データの散らばり データの相関 仮説検定の考え方		

教 科	数学
科 目 名	数学Ⅰ
使用教科書	新高校の数学Ⅰ (数研出版)
副教材等	ポイントノート数学Ⅰ (数研出版)
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科		○		
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。また、数学を通して6の力に代表されるさまざまなコンピテンシーの育成に努める。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・基本的な四則演算ができる(知識)
- ・家庭学習を毎日最低10分は行う。
- ・板書をするだけでなく、自分で考えて答えを出す。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	評価期間テスト 小テスト ノート・プリント・問題 集	評価期間テスト 小テスト ノート・プリント・問題 集の取組み状況	授業態度・意欲・姿勢 ノート・プリント類・問 題集の提出	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	数と式の計算 計算の基本 単項式と多項式の加法、減法、乗法	基礎力診断テスト  評価期間
	5		
	6	展開の公式	
	7	因数分解 展開と因数分解の工夫	
二 学 期	8	混合を含む式の計算 実数	評価期間  評価期間
	9	一次不等式	
	10	一次方程式 不等式 不等式の解	
	11	二次関数のグラフ 関数 一次関数のグラフ	
12	二次関数のグラフ		
三 学 期	1	二次関数の最大値、最小値	評価期間
	2	グラフと二次方程式	
	3	二次不等式	

教 科	数学
科 目 名	数学Ⅰ
使用教科書	新高校の数学Ⅰ (数研出版)
副教材等	ポイントノート数学 (数研出版)
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員	○		
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。また、数学を通して6の力に代表されるさまざまなコンピテンシーの育成に努める。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・教科書以外に問題集、ノートを用意し、数学的に式を読み、解答までの記述を丁寧かつ正しく書くことを身につける。
- ・授業時間以外にも数学を学習する時間を設ける。
- ・習熟度で2つのグループに分けて授業を行う。(評価期間ごとグループ替えを考慮する)

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	評価期間テスト 小テスト	評価期間テスト 小テスト	授業態度・意欲・姿勢 ノート・プリント類・問 題集の提出	A:十分満足できる状況	
	ノート・プリント・問題 集	ノート・プリント・問題 集の取組み状況		B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	数と式の計算 計算の基本 単項式と多項式の加法、減法、乗法 展開の公式	基礎力診断テスト  評価期間
	5	因数分解 展開と因数分解の工夫 混合を含む式の計算 実数	
	6	一次不等式	
	7	一次方程式 不等式 不等式の解	
二 学 期	8	二次関数のグラフ	評価期間  評価期間
	9	関数 一次関数のグラフ 二次関数のグラフ	
	10	二次関数の最大値、最小値	
	11	グラフと二次方程式	
12	二次不等式		
三 学 期	1	三角比 直角三角形 三角比 三角比の利用	評価期間
	2	相互関係 鈍角の三角比	
	3	正弦定理 余弦定理 三角形の面積	

教 科	数学
科 目 名	数学Ⅰ
使用教科書	新高校の数学Ⅰ (数研出版)
副教材等	ポイントノート数学Ⅰ (数研出版)
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科			○	
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- 関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識し、具体的な事象の考察や2次不等式を解くことができる。
- 図形の計量の基本的な性質について理解し計量の考えの有用性を認識するとともに、具体的な事象の考察に活用できる。
- 集合と命題に関する基本的な概念や統計の基本的な考え方を理解するとともに、データを整理・分析し傾向を把握できる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- 授業中は私語、居眠りをせず、集中して真剣に取り組む。演習時に、出来るようになるために活動する。
- 問題集、課題プリント等には必ず取り組む。家庭学習として復習を充分に行う。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	評価期間テスト 小テスト ノート・プリント・問題 集	評価期間テスト 小テスト ノート・プリント・問題 集の取組み状況	授業態度・意欲・姿勢 ノート・プリント類・問 題集の提出	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	第3章 三角比 直角三角形	基礎力診断テスト  評価期間
	5	三角比 三角比の利用	
	6	相互関係 鈍角の三角比	
	7	正弦定理 余弦定理	
二 学 期	8	三角形の面積 第4章 集合と命題	評価期間
	9	集合 命題と集合	
	10	必要条件と十分条件 背理法	
	11	第5章 データの分析 データの整理・データの代表値	
三 学 期	1	データの相関	評価期間
	2	仮説検定の考え方	
	3	探究的学習	

教 科	数学
科 目 名	数学Ⅰ
使用教科書	新高校の数学Ⅰ (数研出版)
副教材等	ポイントノート数学Ⅰ (数研出版)
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員		○	
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- 関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識し、具体的な事象の考察や2次不等式を解くことができる。
- 図形の計量の基本的な性質について理解し計量の考えの有用性を認識するとともに、具体的な事象の考察に活用できる。
- 集合と命題に関する基本的な概念や統計の基本的な考え方を理解するとともに、データを整理・分析し傾向を把握できる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- 授業中は私語、居眠りをせず、集中して真剣に取り組む。演習時に、出来るようになるために活動する。
- 問題集、課題プリント等には必ず取り組む。家庭学習として復習を充分に行う。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	評価期間テスト 小テスト ノート・プリント・問題 集	評価期間テスト 小テスト ノート・プリント・問題 集の取組み状況	授業態度・意欲・姿勢 ノート・プリント類・問 題集の提出	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	第3章 三角比 直角三角形	基礎力診断テスト  評価期間
	5	三角比 三角比の利用	
	6	相互関係 鈍角の三角比	
	7	正弦定理 余弦定理	
二 学 期	8	三角形の面積 第4章 集合と命題	評価期間  評価期間
	9	集合 命題と集合	
	10	必要条件と十分条件 背理法	
	11	第5章 データの分析 データの整理・データの代表値	
三 学 期	1	データの相関	評価期間
	2	仮説検定の考え方	
	3	探究的学習	

教 科	数学
科 目 名	数学Ⅱ
使用教科書	新高校の数学Ⅱ（数研出版）
副教材等	ポイントノート数学Ⅱ （数研出版）
単 位 数	4

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員		○	
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- 1 整式の乗法・除法、分数式の四則計算、2次方程式及び高次方程式を解くことができるようにする。
- 2 座標を用いて直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に考察し、様々な図形の考察に活用できるようにする。
- 3 今まで学んだ指数法則や累乗根の考え方を数の分類を拡張しても規則は変わらないことを理解させる。また、指数と対数の関係から対数の有用性を学ばせる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・授業の理解に重点を置く。
- ・演習量を増やし、解法の手引きに従って自ら解答を導けるように粘り強く促す。
- ・演習問題を実践的に取り組ませることにより、達成感を持たせる。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	評価期間テスト 小テスト	評価期間テスト 小テスト	授業態度・意欲・姿勢 ノート・プリント類・問 題集の提出	A:十分満足できる状況	
	ノート・プリント・問題 集	ノート・プリント・問題 集の取組み状況		B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	第1章 複素数と方程式 式の展開因数分解 分数式の計算	基礎力診断テスト  評価期間
	5	複素数 二次方程式の解と判別式 解と係数の関係 整式の割り算	
	6	因数定理 高次方程式	
	7	第2章 図形と方程式 直線上の点 平面上の点 直線の方程式 2直線の関係	
二 学 期	8	円の方程式 第3章 三角関数	評価期間
	9	三角比 三角関数の相互関係 三角関数のグラフ 加法定理 いろいろな公式	
	10	第4章 指数関数・対数関数 指数の拡張 累乗根 指数関数のグラフ	評価期間
	11	対数 対数の性質 対数関数のグラフ 常用対数	
	12	第5章 微分法と積分法 微分係数 導関数 接線 関数の増減	
三 学 期	1	関数の極大値、極小値 関数の最大値、最小値	評価期間
	2	不定積分 定積分	
	3	定積分と面積	

教 科	数学
科 目 名	数学A
使用教科書	新高校の数学A (数研出版)
副教材等	ポイントノート数学A (数研出版)
単 位 数	4

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			○
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。また、数学を通して6の力に代表されるさまざまなコンピテンシーの育成に努める。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・授業の理解に重点を置く。
- ・演習量を増やし、解法の手引きに従って自ら解答を導けるように粘り強く促す。
- ・演習問題を実践的に取り組ませることにより、達成感を持たせる。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	評価期間テスト	評価期間テスト	授業態度・意欲・姿勢 ノート・プリント類・問題集の提出	A:十分満足できる状況	
	小テスト	小テスト		B:概ね満足できる状況	
	ノート・プリント・問題集	ノート・プリント・問題集の取組み状況		C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	第1章 場合の数と確率 集合の要素と個数 和の法則と積の法則	基礎力診断テスト  評価期間
	5	順列 組み合わせ	
	6	事象と確率 独立な思考と確率	
	7	反復思考の確率 条件付確率	
二 学 期	8	第3章 数学と人間の活動 約数と倍数	評価期間  評価期間
	9	倍数の見分け方	
	10	素数と素因数分解 最小公倍数と最大公約数の関係	
	11	2進数 点の表し方	
	12	数学とゲーム・パズル	
三 学 期	1	第2章 図形の性質 図形の基本 角の二等分線と線分の比 三角形の外心、内心、重心	評価期間
	2	円周角の定理 円に内接する四角形 円の接線 方べきの定理	
	3	2つの円 作図 空間の直線、平面 正多面体 立体の断面	

教 科	数学
科 目 名	数学A
使用教科書	新高校の数学A (数研出版)
副教材等	ポイントノート数学A (数研出版)
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				○
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。また、数学を通して6の力に代表されるさまざまなコンピテンシーの育成に努める。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・授業の理解に重点を置く。
- ・演習量を増やし、解法の手引きに従って自ら解答を導けるように粘り強く促す。
- ・演習問題を実践的に取り組ませることにより、達成感を持たせる。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	評価期間テスト	評価期間テスト	授業態度・意欲・姿勢 ノート・プリント類・問 題集の提出	A:十分満足できる状況	
	小テスト	小テスト		B:概ね満足できる状況	
	ノート・プリント・問題 集	ノート・プリント・問題 集の取組み状況		C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	第1章 場合の数と確率 集合の要素と個数 和の法則と積の法則	基礎力診断テスト  評価期間
	5	順列 組み合わせ	
	6	事象と確率 独立な思考と確率	
	7	反復思考の確率 条件付確率	
二 学 期	8	第3章 数学と人間の活動 約数と倍数	評価期間  評価期間
	9	倍数の見分け方	
	10	素数と素因数分解 最小公倍数と最大公約数の関係	
	11	2進数 点の表し方	
	12	数学とゲーム・パズル	
三 学 期	1	第2章 図形の性質 図形の基本 角の二等分線と線分の比 三角形の外心、内心、重心	評価期間
	2	円周角の定理 円に内接する四角形 円の接線 方べきの定理	
	3	2つの円 作図 空間の直線、平面 正多面体 立体の断面	



教 科	数学
科 目 名	数学A
使用教科書	新高校の数学A (数研出版)
副教材等	ポイントノート数学A (数研出版)
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			○
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。また、数学を通して6の力に代表されるさまざまなコンピテンシーの育成に努める。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・授業の理解に重点を置く。
- ・演習量を増やし、解法の手引きに従って自ら解答を導けるように粘り強く促す。
- ・演習問題を実践的に取り組ませることにより、達成感を持たせる。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	評価期間テスト	評価期間テスト	授業態度・意欲・姿勢 ノート・プリント類・問 題集の提出	A:十分満足できる状況	
	小テスト	小テスト		B:概ね満足できる状況	
	ノート・プリント・問題 集	ノート・プリント・問題 集の取組み状況		C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	第1章 場合の数と確率 集合の要素と個数 和の法則と積の法則	基礎力診断テスト  評価期間
	5	順列 組み合わせ	
	6	事象と確率 独立な思考と確率	
	7	反復思考の確率 条件付確率	
二 学 期	8	第3章 数学と人間の活動 約数と倍数	評価期間
	9	倍数の見分け方	
	10	素数と素因数分解 最小公倍数と最大公約数の関係	
	11	2進数 点の表し方	
	12	数学とゲーム・パズル	
三 学 期	1	第2章 図形の性質 図形の基本 角の二等分線と線分の比 三角形の外心、内心、重心	評価期間
	2	円周角の定理 円に内接する四角形 円の接線 方べきの定理	
	3	2つの円 作図 空間の直線、平面 正多面体 立体の断面	

教 科	数学
科 目 名	数学B
使用教科書	新高校の数学B (数研出版)
副教材等	ポイントノート数学B (数研出版)
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			○
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- (1) 数列, 統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。  
(2) 日常の事象や社会の事象を数学化し, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。  
(3) 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深める。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・授業は主体性を持って取り組む。
- ・わからないことがあれば、自分から先生または友人に質問をする。
- ・難問に対してもあきらめずに取り組み自分なりの回答を出す。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	評価期間テスト 小テスト ノート・プリント・問題集	評価期間テスト 小テスト ノート・プリント・問題集の取組み状況	授業態度・意欲・姿勢 ノート・プリント類・問題集の提出	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	第1章 数列 第1節 数列 等差数列 等比数列 複利法と等比数列	基礎力診断テスト  評価期間
	5	和の記号Σ 階差数列	
	6	第2節 漸化式と一般項 数学的帰納法	
	7	数列に関する種々の問題演習	
二 学 期	8	第3章 数学と社会生活 ごみの量の推定 自転車シェアリング	評価期間
	9	電気料金と省エネルギー 平均気温と地球温暖化 標高と気温の関係 自転車が止まるまでの距離	
	10	第2章 統計的な推測 第1節 確率 確率分布と確率変数	
	11	二項分布 確率密度関数 正規分布 二項分布と正規分布	
12		評価期間	
三 学 期	1	第二節 母集団と標本 母平均の推定 仮説検定	評価期間
	2		
	3		

教 科	理科
科 目 名	科学と人間生活
使用教科書	科学と人間生活 新課程版 (実教出版)
副教材等	アクセスノート 科学と人間生活 (実教出版)
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員	○		
	選択			
園芸デザイン科		○		
家政科	全員	○		
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを見通しをもって行うことなど通して理解し、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○			

### 3.学習の留意点

- ・授業をきちんと聞き、参加してください。ワークシートや副教材を期日までにきちんと提出してください。
- ・考査の直前だけでなく、継続的に学習してください。特に家庭での学習は、副教材を利用して演習を繰り返してください。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	必要な知識・技能を身につけているか、実験・観察や単元テストから評価します。	自然の事物や現象を考察・分析し表現できるか、記述や単元テスト等から評価します。	自然の事物や現象に進んでかかわり、科学的に探究する態度を提出物から評価します。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備考
一 学 期	4	科学と技術の発展 科学と技術の始まり 海 土	1学期評価期間
	5	物質の科学 衣食にかかわるさまざまな物質	
	6	食品と衣料 食品に関わる物質	
	7	食品と衣料 衣料に関わる物質	
二 学 期	8	生命の科学 いろいろな微生物 微生物の利用	2学期仮評価期間
	9	微生物とその利用 生態系での微生物	
	10	光や熱の科学 光	2学期評価期間
	11	光の性質とその利用 電磁波の利用	
	12	光の性質とその利用 電磁波と宇宙・地球の観測	
三 学 期	1	宇宙や地球の科学 身近な景観の成り立ち 地球内部のエネルギー	学年末評価期間
	2	身近な自然景観と自然災害 自然の恵みと自然災害	
	3	これからの科学と人間生活 これからの科学・技術と人間	

教 科	理科
科 目 名	物理基礎
使用教科書	高校物理基礎 (実教出版)
副教材等	高校物理基礎 サブノート (実教出版)
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			○
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見直しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○			

### 3.学習の留意点

- ・日常生活の中で使用する製品や身の周りで起こる現象に興味をもち、そのしくみについて考える態度をもつこと。
- ・疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。
- ・学んだことを正確に記録するとともに、学習を振り返る態度を身につけること。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	単元テスト、並びに実験操作やデータを処理する技能から評価します。	観察・実験や考察を行う上で、その内容などから評価します。	授業に対する姿勢、振り返りシートの記述などから学びに向かう態度等で判断します。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備考
一 学 期	4	1章 物体の運動 1節 運動の表し方	1学期評価期間
	5		
	6	1章 物体の運動 2節 力と運動の法則	
	7		
二 学 期	8	2章 エネルギー 1節 運動とエネルギー	2学期仮評価期間
	9	2章 エネルギー 2節 熱とエネルギー	
	10	3章 波 1節 波の性質 2節 音と振動	
	11	4章 電気 1節 物質と電流	2学期評価期間
	12	4章 電気 2節 磁場と電流	
三 学 期	1	5章 物理と社会 1節 エネルギーとその利用	学年末評価期間
	2		
	3		

教 科	理科
科 目 名	化学基礎
使用教科書	1版 化学基礎 (啓林館)
副教材等	化学基礎の基本マスター 新訂版(啓林館)
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員		○	
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員		○	
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
			○		○	

### 3.学習の留意点

- ・日常生活の中で使用する製品や身の周りで起こる化学現象に興味をもち、そのしくみについて考える態度をもつこと。
- ・疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。
- ・学んだことを正確に記録するとともに、学習を振り返る態度を身につけること。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	単元テストや小テスト、並びに実験操作やデータを処理する技能から評価します。	観察・実験等を行う上での予想や考察の内容などから評価します。	授業に対する姿勢、振り返りシートの記述、化学への関心等で判断します。	A:十分満足できる状況 B:概ね満足できる状況 C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備考
一 学 期	4	化学と物質 純物質と混合物 物質とその成分	1学期評価期間
	5	物質の構成粒子 原子の構造と電子配置	
	6	物質の構成粒子 イオン 元素の周期表	
	7	化学結合 イオン結合 共有結合	
二 学 期	8	化学結合 金属結合 物質の分類と融点	2学期仮評価期間
	9	物質の変化 原子量・分子量・式量	
	10	物質の変化 物質量	2学期評価期間
	11	物質の変化 化学反応式と化学変化の量的関係	
12	酸と塩基 酸と塩基 水の電離とpH		
三 学 期	1	酸と塩基 酸・塩基の中和と塩	学年末評価期間
	2	酸化還元反応 酸化と還元 酸化剤と還元剤	
	3	酸化還元反応 金属の酸化還元反応 酸化還元反応の利用	

教 科	理科
科 目 名	化学基礎
使用教科書	1版 化学基礎 (啓林館)
副教材等	化学基礎の基本マスター 新訂版(啓林館)
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科			○	
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
			○		○	

### 3.学習の留意点

- ・日常生活の中で使用する製品や身の周りで起こる化学現象に興味をもち、そのしくみについて考える態度をもつこと。
- ・疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。
- ・学んだことを正確に記録するとともに、学習を振り返る態度を身につけること。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	単元テストや小テスト、並びに実験操作やデータを処理する技能から評価します。	観察・実験等を行う上での予想や考察の内容などから評価します。	授業に対する姿勢、振り返りシートの記述、化学への関心等で判断します。	A:十分満足できる状況 B:概ね満足できる状況 C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備考
一 学 期	4	「化学」って何? 身のまわりの物質 探究の進め方 化学の特徴	1学期評価期間
	5	化学と物質 純物質と混合物 物質とその成分	
	6	化学と物質 粒子の熱運動と物質の三態	
	7	物質の構成粒子 原子の構造と電子配置 イオン 元素の周期表	
二 学 期	8	化学結合 イオン結合 共有結合 金属結合 物質の分類と融点	2学期仮評価期間
	9	物質の変化 原子量・分子量・式量	
	10	物質の変化 物質質量 化学反応式と化学変化の量的関係	2学期評価期間
	11	酸と塩基 酸と塩基 水の電離とpH	
	12	酸と塩基 酸・塩基の中和と塩	
三 学 期	1	酸化還元反応 酸化と還元 酸化剤と還元剤	学年末評価期間
	2	酸化還元反応 金属の酸化還元反応 酸化還元反応の利用	
	3	化学が拓く世界 化学と人間生活 汚れを落とす化学の仕組み 化学が拓く世界 食品や健康を守る技術	

教 科	理科
科 目 名	地学基礎
使用教科書	地学基礎 (実教出版)
副教材等	ビジュアルプラス 地学基礎ノート (実教出版)
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員		○	
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
			○	○		

### 3.学習の留意点

- ・日常生活の中で使用する製品や身の周りで起こる現象に興味をもち、そのしくみについて考える態度をもつこと。
- ・疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。
- ・学んだことを正確に記録するとともに、学習を振り返る態度を身につけること。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	単元テスト、並びに実験操作やデータを処理する技能から評価します。	観察・実験や考察を行う上で、その内容などから評価します。	授業に対する姿勢、振り返りシートの記述などから学びに向かう態度等で判断します。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備考
一 学 期	4	1章 地球の恒星と運動 1節 地球の構造	1学期評価期間
	5	1章 地球の恒星と運動 2節 プレートの運動	
	6	1章 地球の恒星と運動 3節 地震と火山	
	7	2章 大気と海洋 1節 大気と海洋の構造と運動	
二 学 期	8	2章 大気と海洋 2節 大気と海洋の循環	2学期仮評価期間
	9	2章 大気と海洋 3節 海洋の構造と海水 4節 日本の四季の気象	
	10	3章 宇宙、太陽系と地球の誕生 1節 宇宙の誕生 2節 太陽の誕生	2学期評価期間
	11	3章 宇宙、太陽系と地球の誕生 3節 惑星の誕生と地球の誕生	
	12	4章 古生物の変遷と地球環境の変化 1節 地層の成り方	
三 学 期	1	4章 古生物の変遷と地球環境の変化 2節 化石と地質時代の区分 3節 古生物の変遷と地球環境	学年末評価期間
	2	5章 地球の環境 1節 日本の自然環境	
	3	5章 地球の環境 2節 地球環境の科学	

教 科	理科
科 目 名	生物基礎
使用教科書	高校生物基礎 (実教出版)
副教材等	高校生物基礎 サブノート (実教出版)
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			○
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

生物や生物現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
			○		○	

### 3.学習の留意点

- ・日常生活の中で使用する製品や身の周りで起こる現象に興味をもち，そのしくみについて考える態度をもつこと。
- ・疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。
- ・学んだことを正確に記録するとともに，学習を振り返る態度を身につけること。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	単元テスト，並びに実験操作やデータを処理する技能から評価します。	観察・実験や考察を行う上で，その内容などから評価します。	授業に対する姿勢，振り返りシートの記述などから学びに向かう態度等で判断します。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備考
一 学 期	4	1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性 2節 生物とエネルギー	1学期評価期間
	5	2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA	
	6	2章 遺伝子とその働き 2節 遺伝情報とタンパク質の合成	
	7	3章 ヒトのからだの調節 1節 体内環境	
二 学 期	8	3章 ヒトのからだの調節 2節 体内環境の維持の仕組み	2学期仮評価期間
	9	3章 ヒトのからだの調節 3節 免疫	
	10	4章 生物の多様性と生態系 1節 生態系とその成り立ち	2学期評価期間
	11	4章 生物の多様性と生態系 2節 植生とバイオーム	
12	4章 生物の多様性と生態系 3節 生態系と生物の多様性		
三 学 期	1	4章 生物の多様性と生態系 4節 生態系のバランスと保全	学年末評価期間
	2		
	3		



教 科	保健体育
科 目 名	保健
使用教科書	新高等保健
副教材等	新高等学校保健ノート
単 位 数	1

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員	○		
	選択			
園芸デザイン科		○		
家政科	全員	○		
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- 1 現代社会と健康 1)現代社会の中で生活をおくる上で、健康の捉え方、健康の変化、そして健康問題を理解し、正しい健康の考え方を学ぶ。  
 2 安全な社会生活 1)現代社会の中で生活していく上で、安全を第一に生活していくことが重要である。交通事故を始め、自然災害、犯罪、日常生活（熱中症・感染症など）から予防を学びより安全な生活を維持していく基本保健知識を身に付ける。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- 1) 保健の基礎(健康とは？,生活習慣病予防等)を知識として学び,今後(高校卒業後)の生活を考え、健康向上の可能性を探究していく。(探究力・創造力)  
 2) 主体的な活動を基本とした学習形態をとり、より活発に意見を交わし、互いの意見を尊重しながら、課題の解決へ活動する。(積極性・尊敬心・協調性)  
 3) 変化する現代社会への対応力を身に付け、必要な保健知識、他者との交流から身に付けた考え方を協働して課題を解決へ導き、健康問題へ取り組む心を育む。(課題解決力・協調性・創造力)

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・単元テスト ・ノートの取り組み ・発言等	・発言等 ・グループ活動での様子 (グループディスカッション等) ・意見発表等	・授業での取り組み ・グループ活動での様子 ・活動記録の提出 ・グループ内の役割分担等	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4～7	○現代社会と健康 ①日本における健康課題の変遷 ②健康の考え方と成り立ち ③ヘルス・ポジションと健康にかかわる環境問題 ④健康に関する意思決定・行動選択 ⑤現代における感染症の問題 ⑥感染症の予防 ⑦性感染症・エイズとその予防 ⑧生活習慣病の予防と回復 ⑨身体活動・運動と健康	
二 学 期	8～12	○現代社会と健康 ⑨身体活動・運動と健康 ○安全な社会生活①事故の現状と発生要因 ⑩食事と健康 ②交通事故防止の取り組み ⑪休養・睡眠と健康 ③安全な社会形成 ⑫がんの予防と健康 ⑬喫煙と健康 ⑭飲酒と健康 ⑮薬物乱用と健康 ⑯精神疾患の特徴 ⑰精神疾患への対応	
三 学 期	1～3	○安全な社会生活 ④応急手当の意義と救命救急医療体制 ⑤心肺蘇生法 ⑥日常的な応急処置	

教 科	保健体育
科 目 名	保健
使用教科書	現代高等保健
副教材等	現代高等学校保健ノート
単 位 数	1

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員		○	
	選択			
園芸デザイン科			○	
家政科	全員		○	
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- 3生涯を通じる健康 1)生涯を通じて健康を理解し日常生活をおくる上で、健康の捉え方、健康の変化、そして健康問題を理解し、正しい健康の考え方を学ぶ。  
 4健康を支える環境づくり  
 1)現代社会の中で生活していく上で、安全を第一に生活していくことが重要である。交通事故を始め、自然災害、犯罪、日常生活（熱中症・感染症など）から予防を学びより安全な生活を維持していく基本保健知識を身に付ける。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- 1) 保健の基礎(健康とは？,生活習慣病予防等)を知識として学び,今後(高校卒業後)の生活を考え、健康向上の可能性を探究していく。(探究力・創造力)  
 2) 主体的な活動を基本とした学習形態をとり、より活発に意見を交わし、互いの意見を尊重しながら、課題の解決へ活動する。(積極性・尊敬心・協調性)  
 3) 変化する現代社会への対応力を身に付け、必要な保健知識、他者との交流から身に付けた考え方を協働して課題を解決へ導き、健康問題へ取り組む心を育む。(課題解決力・協調性・創造力)

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・単元テスト ・ノートの取り組み ・発言等	・発言等 ・グループ活動での様子 (グループディスカッション等) ・意見発表等	・授業での取り組み ・グループ活動での様子 ・活動記録の提出 ・グループ内の役割分担等	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4～7	○生涯を通じる健康 ①ライフステージと健康 ②思春期と健康 ③性意識と性行動の選択 ④妊娠・出産と健康 ⑤避妊法と人工妊娠中絶 ⑥結婚生活と健康 ⑦中高年期と健康 ⑧働くことと健康	
二 学 期	8～12	○生涯を通じる健康 ⑨労働災害と健康 ⑩健康的な職業生活 ○健康を支える環境づくり ①大気汚染と健康 ②水質汚濁、土壌汚染と健康 ③環境と健康にかかわる対策 ④ごみの処理と上下水道の整備 ⑤食品の安全性 ⑥食品衛生にかかわる活動 ⑦保健サービスとその活用 ⑧医療サービスとその活用	
三 学 期	1～3	○健康を支える環境づくり ⑨医薬品の制度とその活用 ⑩さまざまな保健活動や社会的対策 ⑪健康に関する環境づくりと社会参加	

教 科	保健体育
科 目 名	体育
使用教科書	アクティブスポーツ 新高等保健
副教材等	
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員	○		
	選択			
園芸デザイン科		○		
家政科	全員	○		
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- 1) 集団活動、集団行動としてひとり一人がよりよい集団をつくり、個人としての創造力、集団として社会性を身に付ける。
- 2) 各種目に挑戦することで、運動を楽しみ、個々の課題を見つけ、課題解決に向け努力することで深い学びへと誘い、継続する。
- 3) 運動の基礎、基本を改めて考え、身に付けることで、学習活動の応用へと発展するように学習を繰り返す。
- 4) 本校のスクールミッションを把握し、理解することで、自己実現へと向かう姿勢を継続する。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- 1) 学校指定のジャージを着用し、上靴の踵を踏まず、紐を結び安全性を遵守する心を育てる
- 2) 体育ノートを活用し振り返り活動を意識する
- 3) 身なりを整え、学習環境を整備し、安全・安心な活動を心掛ける

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	実技テスト、体育ノートの調べ学習の内容から評価する	自己やグループの課題解決を目指し、活動方法、内容を工夫しているか。実技や体育ノートの内容等から評価する	授業へ主体的に取り組む姿勢を評価する。学習に対しどのように工夫してきたのか体育ノート等で評価する	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考	
一 学 期	4	○オリエンテーション ・今年度一年間安全かつ目標到達のための活動を実施するためのガイダンス ○体づくり運動 ・基礎体力の確認と向上を目的とし、各競技の特性を把握しより安全に活動できるよう目指す	(授業形態) 男女別一斉授業  (評価) 各単元ごと実技テストや 体育ノートの調べ学習の内容等	
	5	○新体力テスト ・現時点での自分の基礎体力を把握するためのテスト		
	6	○救命救急講習 ・個人また集団で活動するために必要な救急法を身に付ける		
		○器械体操(マット) ・柔軟性や巧緻性を養い、より安全に活動する身体の特性を学ぶ ○球技:男子/サッカー 女子/ソフトボール		
	7	・各球技の特性、ルールを把握し、集団スポーツとしての仲間づくり 協調性と協働を学びと競技の向上を目指す 体育理論 ・各種目の歴史を学び、各種目の目的特性を学ぶ		
	二 学 期	8		(授業形態) 男女別一斉授業
	9	○陸上(短距離/中距離/マラソン) ・個人種目であるが、他現時点での自分の基礎体力を把握するためのテスト		(評価) 各単元ごと実技テストや 体育ノートの調べ学習の内容等
10	○男子:柔道/女子:ダンス ・格技では心技体の精神を学び、ダンスでは協働とリズム感を学ぶ			
11	○男子:バレーボール/女子:バドミントン ・チーム種目として個人技術とチームとしての協働を重んじ、その多様性を理解しよりよい人間関係を築き、より豊かな資質を学ぶ			
12	○体育理論 ・各種目の歴史を学び、各種目の目的特性を学ぶ			
三 学 期	1	○選択種目 バドミントン/卓球 ・チーム種目として個人技術とチームとしての協働を重んじ、その多様性を理解しよりよい人間関係を築き、より豊かな資質を学ぶ	(授業形態) 男女別一斉授業  (評価) 各単元ごと実技テストや	
	2	○生涯スポーツ ・生涯にわたり実技・理論を含め生涯にわたり取り組めるスポーツを学ぶ		
	3	○体育理論 ・各種目の歴史を学び、各種目の目的特性を学ぶ		

教 科	保健体育
科 目 名	体育
使用教科書	アクティブスポーツ 新高等保健
副教材等	
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員		○	
	選択			
園芸デザイン科			○	
家政科	全員		○	
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- 1) 集団活動、集団行動としてひとり一人がよりよい集団をつくり、個人としての創造力、集団として社会性を身に付ける。
- 2) 各種目に挑戦することで、運動を楽しみ、個々の課題を見つけ、課題解決に向け努力することで深い学びへと誘い、継続する。
- 3) 運動の基礎、基本を改めて考え、身に付けることで、学習活動の応用へと発展するように学習を繰り返す。
- 4) 本校のスクールミッションを把握し、理解することで、自己実現へと向かう姿勢を継続する。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- 1) 学校指定のジャージを着用し、上靴の踵を踏まず、紐を結び安全性を遵守する心を育てる
- 2) 体育ノートを活用し振り返り活動を意識する
- 3) 身なりを整え、学習環境を整備し、安全・安心な活動を心掛ける

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	
評価方法	実技テスト、体育ノートの調べ学習の内容から評価する	自己やグループの課題解決を目指し、活動方法、内要を工夫しているか。実技や体育ノートの内容等から評価する	授業へ主体的に取組む姿勢を評価する。学習に対しどのように工夫してきたのか体育ノート等で評価する	A:十分満足できる状況	三観点を総括して5段階で評価する。
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	○オリエンテーション ・今年度一年間安全かつ目標到達のための活動を実施するためのガイダンス	(授業形態) 男女別一斉授業(器械体操) 男女合同選択授業  (評価) 各単元ごと実技テストや体育ノートの調べ学習の内容等
	5	○新体力テスト ・現時点での自分の基礎体力を把握するためのテスト ○救命救急講習 ・個人また集団で活動するために必要な救急法を身に付ける ○選択)テニス/ソフトボール ・個人/ペア・チームによる攻防を学び協調性を学び、協働力を身に付ける	
	6	○女子器械体操(跳び箱/鉄棒) ・柔軟性や巧緻性を養い、より安全に活動する身体の特性を学ぶ ○選択:柔道/ダンス ・種目を選択し、より高度で洗練された技術を学ぶ。また相手を尊重し協働性を学ぶ。	
	7	○体育理論 ・各種目の歴史を学び、各種目の目的特性を学ぶ	
二 学 期	8		(授業形態) 男女合同選択授業
	9		(評価)
	10	○陸上(短距離/中距離/マラソン) ・個人種目であるが、他現時点での自分の基礎体力を把握するためのテスト ○柔道/ダンス ・格技では心技体の精神を学び、ダンスでは協働とリズム感を学ぶ ○体育理論 ・各種目の歴史を学び、各種目の目的特性を学ぶ	各単元ごと実技テストや体育ノートの調べ学習の内容等
	11		
三 学 期	1	○男子バスケボール/女子バレーボール ・チーム種目として個人技術とチームとしての協働を重んじ、その多様性を	(授業形態) 男女合同選択授業
	2	理 解しよりよい人間関係を築き、より豊かな資質を学ぶ	(評価)
	3	○体育理論 ・各種目の歴史を学び、各種目の目的特性を学ぶ	各単元ごと実技テストや体育ノートの調べ学習の内容等

教 科	保健体育
科 目 名	体育
使用教科書	アクティブスポーツ 新高等保健
副教材等	
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			○
	選択			
園芸デザイン科				○
家政科	全員			○
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- 1) 集団活動、集団行動としてひとり一人がよりよい集団をつくり、個人としての創造力、集団として社会性を身に付ける。
- 2) 各種目に挑戦することで、運動を楽しみ、個々の課題を見つけ、課題解決に向け努力することで深い学びへと誘い、継続する。
- 3) 運動の基礎、基本を改めて考え、身に付けることで、学習活動の応用へと発展するように学習を繰り返す。
- 4) 本校のスクールミッションを把握し、理解することで、自己実現へと向かう姿勢を継続する。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- 1) 学校指定のジャージを着用し、上靴の踵を踏まず、紐を結び安全性を遵守する心を育てる
- 2) 体育ノートを活用し振り返り活動を意識する
- 3) 身なりを整え、学習環境を整備し、安全・安心な活動を心掛ける

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	実技テスト、体育ノートの調べ学習の内容から評価する	自己やグループの課題解決を目指し、活動方法、内要を工夫しているか。実技や体育ノートの内容等から評価する	授業へ主体的に取り組む姿勢を評価する。学習に対しどのように工夫してきたのか体育ノート等で評価する	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	○オリエンテーション ・今年度一年間安全かつ目標到達のための活動を実施するためのガイダンス ○新体力テスト ・現時点での自分の基礎体力を把握するためのテスト ○選択)テニス/ソフトボール ・個人/ペア/チームの特性を生かし、競技の特性を知り、ルールを学び協調性、協働性を身に付ける ○体育理論 ・各種目の歴史を学び、各種目の目的特性を学ぶ	(授業形態) 男女合同選択授業
	5		(評価)
	6		各単元ごと実技テストや 体育ノートの調べ学習の内容等
	7		
二 学 期	8	○陸上(短距離/中距離/マラソン) ・個人種目であるが、他現時点での自分の基礎体力を把握するためのテスト ・種目を選択し、より高度で洗練された技術を学ぶ ・互いに認め合い、情報を共有し互いに指摘し合い、目標を到達する楽しさを学ぶ ○選択)バレーボール/バスケットボール ・チーム種目として個人技術とチームとしての協働を重んじ、その多様性を理解しよりよい人間関係を築き、より豊かな資質を学ぶ ・ゲームを通して、協働性を学び、チームとして主体的活動できる資質を身に付ける ・ルールや戦術等の情報を調べ、よりチームワークを高めるとともに、相手を尊重しゲームに向かう姿勢を学ぶ ○体育理論 ・各種目の歴史を学び、各種目の目的特性を学ぶ	(授業形態) 男女合同選択授業
	9		(評価)
	10		各単元ごと実技テストや 体育ノートの調べ学習の内容等
	11		
三 学 期	12		
	1	○選択)卓球/バドミントン ・軽スポーツを通じて、相手を尊重する資質やよりよい人間関係を築く心を育む ・また、勝ち負けに拘らず相手に合わ、また相手から学ぶ心を養う ○体育理論 ・各種目の歴史を学び、各種目の目的特性を学ぶ	(授業形態) 男女合同選択授業
	2		(評価)
3	各単元ごと実技テストや 体育ノートの調べ学習の内容等		

教 科	芸術
科 目 名	音楽Ⅰ
使用教科書	高校生の音楽Ⅰ（教育芸術社）
副教材等	なし
単位数	2

		対象生徒		
		一学年	二学年	三学年
普通科	全員	○		
	選択			
園芸デザイン科		○		
家政科	全員	○		
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広くかかわる資質・能力を育成する。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・自発的に参加し、音楽を楽しむ姿勢で臨みましょう。
- ・プリントや楽譜はきちんと管理し、楽譜は丁寧に扱きましょう。
- ・お互いの演奏や活動を尊重し、他者を思いやる豊かな心を育てましょう。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・学習活動の状況 ・プリント、レポートの達成度	・グループ活動の状況 ・提出物	・実技試験 ・発表を聞く姿勢 ・演奏を聴く力	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	歌唱 発声、校歌、日本歌曲	歌唱実技試験 プリント提出 実技試験 レポート提出
	5	楽典 楽譜の読み方、音符と休符	
	6	器楽 リコーダー	
	7	鑑賞 クラシック、ジャズ、ポップス	
二 学 期	8	楽典 音程、和音、コードネーム	プリント提出  実技試験 実技試験
	9	器楽 リコーダーアンサンブル	
	10	器楽 リコーダー二重奏、三重奏	
	11	歌唱 イタリア歌曲	
	12	鑑賞 管弦楽、伝統芸能	
三 学 期	1	楽典 楽器の種類、音楽用語、リズム	プリント提出 実技試験 レポート提出
	2	クラシックギターの調弦、運指、スケール、演奏	
	3	合唱、重唱を中心とした西洋音楽史	

教 科	芸術
科 目 名	音楽表現
使用教科書	なし
副教材等	なし
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			○
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

音楽やリズムを心で感じ、音感やリズム感だけでなく、集中力や表現力、想像力を養うために設定されている科目です。
--

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○	○	○	

### 3.学習の留意点

「情操教育」「音感教育」「生活習慣」を自然に身につけることを目指します。
--------------------------------------

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・学習活動の状況 ・課題の達成度 ・提出物	・グループ活動の状況 ・レポート提出	・実技試験	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	オリエンテーション 音楽の始まりと終わりの感覚、リズム、ダイナミクス、音の高低、リズムフレーズ、拍子、音色	実技テスト レポート提出 実技テスト
	5	ピアノ 運指、スケール	
	6	鑑賞 オペラ	
	7	歌唱 日本歌曲	
二 学 期	8	ソルフェージュ 視唱、聴音	実技テスト  実技テスト
	9	ピアノ ベーシックな練習曲	
	10	ピアノ ベーシックな練習曲	
	11	歌唱 イタリア歌曲	
	12	歌唱 イタリア歌曲	
三 学 期	1	プレゼンテーション カントリーミュージック	発表

教 科	英語
科 目 名	英語コミュニケーションⅠ
使用教科書	All Aboard English Communication I New Edition
副教材等	Brains eラーニング
単 位 数	4

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員	○		
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員	○		
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

①必要な情報を聞いたり、話し手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。②必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。③基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝え合うことができる。④基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝えることができる。⑤基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを文章に書いて伝えることができる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
		○	○		○	

### 3.学習の留意点

- 授業中に学ぶ英単語や熟語を何度も反復練習し、しっかりと覚える。
- 授業中は作業に積極的に取り組む。提出物は期限内にきちんと出し、また自己管理する。
- 発声、音読など主体的に取り組む。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・小テスト ・リスニングテスト ・単元テスト	・プリント提出 ・レシテーション ・単元テスト	・学習活動に向かう態度 ・eラーニング ・単元テスト	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4～7	1 Breakfast around the world 世界の朝食の英文を聞いたり読んだりし、相手の好みを知り、自分の考えや好み、理由を伝え合う。	単元テスト
		2 Australia's Cute Quokkas 好きな動物について、相手の意見を知り、自分の考えや好みそして理由などを伝え合う。	単元テスト
		3 Atrain Driver in Sanriku ある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて話したり書いたり伝え合ったりする。	単元テスト
二 学 期	8～12	4 A Miracle Mirror: A Diary of Hope 行ってみた場所ややりたいことについて相手の意見を知り、情報や考え、気持ちを伝え合っている。	単元テスト
		5 Learning from the Sea 将来の夢や楽しんだことについて相手の意見を知り、考えや気持ち、情報などを話したり書いたりして伝え合っている。	単元テスト
		6 A Funny Picture from the Edo Period 好きな絵について英語で述べるができる	
三 学 期	1～3	7 A Diary of Hope 関心のある人物について英語で説明することができる	単元テスト
		8 A Door to a New Life 人の生活を豊かにするロボットについて考え英語で提案することができる	



教 科	英語
科 目 名	英語コミュニケーションⅠ
使用教科書	All Aboard English Communication I New Edition
副教材等	Brains eラーニング
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科		○		
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

①必要な情報を聞いたり、話し手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。②必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。③基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝え合うことができる。④基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝えることができる。⑤基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを文章に書いて伝えることができる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
		○	○		○	

### 3.学習の留意点

- 授業中に学ぶ英単語や熟語を何度も反復練習し、しっかりと覚える。
- 授業中は作業に積極的に取り組む。提出物は期限内にきちんと出し、また自己管理する。
- 発声、音読など主体的に取り組む。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・小テスト ・リスニングテスト ・単元テスト	・プリント提出 ・レシテーション ・単元テスト	・学習活動に向かう態度 ・eラーニング ・単元テスト	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4～7	1 Breakfast around the world 世界の朝食の英文を聞いたり読んだりし、相手の好みを知り、自分の考えや好み、理由を伝え合う。	単元テスト
		2 Australia's Cute Quokkas 好きな動物について、相手の意見を知り、自分の考えや好みそして理由などを伝え合う。	単元テスト
		3 Atrain Driver in Sanriku ある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて話したり書いたり伝え合ったりする。	単元テスト
二 学 期	8～12	4 A Miracle Mirror: A Diary of Hope 行ってみた場所ややりたいことについて相手の意見を知り、情報や考え、気持ちを伝え合っている。	単元テスト
		5 Learning from the Sea 将来の夢や楽しんだことについて相手の意見を知り、考えや気持ち、情報などを話したり書いたりして伝え合っている。	単元テスト
		6 A Funny Picture from the Edo Period 好きな絵について英語で述べることができる	
三 学 期	1～3	7 A Diary of Hope 関心のある人物について英語で説明することができる	単元テスト
		8 A Door to a New Life 人の生活を豊かにするロボットについて考え英語で提案することができる	

教 科	英語
科 目 名	英語コミュニケーションⅠ
使用教科書	All Aboard English Communication I New Edition
副教材等	Brains eラーニング
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科			○	
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

①必要な情報を聞いたり、話し手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。②必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。③基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝え合うことができる。④基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝えることができる。⑤基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを文章に書いて伝えることができる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
		○	○		○	

### 3.学習の留意点

- 授業中に学ぶ英単語や熟語を何度も反復練習し、しっかりと覚える。
- 授業中は作業に積極的に取り組む。提出物は期限内にきちんと出し、また自己管理する。
- 発声、音読など主体的に取り組む。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	・小テスト ・リスニングテスト ・単元テスト	・プリント提出 ・レシテーション ・単元テスト	・学習活動に向かう態度 ・eラーニング ・単元テスト	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4～7	Lesson 8 ロボットカフェを紹介する実況中継を通して、ロボットの可能性について考える。	単元テスト
		Communication 3 電車の乗り換え案内の場面においてよく使われる表現を用いて、英語で尋ねたり案内したりする。	単元テスト
		英文のしくみ 主語+動詞+目的語+補語 文法のまとめ3 受け身/比較表現/完了形	単元テスト
二 学 期	8～12	Lesson 9 プラスチックごみによる環境汚染と戦うインドネシアの姉妹の活動を学習する。	単元テスト
		Lesson 10 第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や、両地域の現在の交流について学習する。 Reading 2 家ごと大竜巻に飛ばされて不思議なオズの国に降り立ったドロシーと愛犬のトトが、自分の家にたどりつくまでの冒険物語を読み、場面や登場人物の心情を読み取る。	単元テスト
三 学 期	1～3	Extra Target 3 仮定法過去：〈If+過去形の文、I would …〉 文法のまとめ4 名詞を後ろから説明する分詞/関係詞/句読法	単元テスト

教 科	英語
科 目 名	英語コミュニケーションⅡ
使用教科書	All Aboard English Communication II New Edition
副教材等	なし
単 位 数	4

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員		○	
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

①必要な情報を聞いたり、話し手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。②必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。③基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝え合うことができる。④基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝えることができる。⑤基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを文章に書いて伝えることができる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
		○	○		○	

### 3.学習の留意点

- (1) 授業中に学ぶ英単語や熟語を何度も反復練習し、しっかりと覚える。
- (2) 授業中は作業に積極的に取り組む。提出物は期限内にきちんと出し、また自己管理する。
- (3) 音読・暗唱など音声活動に前向きに取り組む。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	・パフォーマンステスト ・単元テスト	・パフォーマンステスト ・単元テスト	・パフォーマンステスト ・単元テスト	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4～7	Fighting Plastic Pollution 社会的な問題について英語で意見を述べる<使役動詞>	単元テスト
		Pigs from across the Sea 人を助ける職業について英語で説明できる<分詞構文>	単元テスト
		A Colorful Island 行ってみたい海外を話せる<関係代名詞>	単元テスト
二 学 期	8～12	With the Beatles 人気のある人について英語で話せる<比較級・最上級>	単元テスト
		Wild Men 身近な行事を英語で紹介できる<It～to,It～that>	単元テスト
		Little Hero 好きな物語を英語で紹介できる<間接疑問文>	単元テスト
三 学 期	1～3	Special Makeup in Kabuki 伝統文化を英語で説明できる<to不定詞> Seeds for Future Generations 地元で有名な場所やものを英語で説明できる<if>	単元テスト

教 科	英語
科 目 名	英語コミュニケーションⅡ
使用教科書	All Aboard English Communication II New Edition
副教材等	なし
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員		○	
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

①必要な情報を聞いたり、話し手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。②必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。③基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝え合うことができる。④基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝えることができる。⑤基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを文章に書いて伝えることができる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
		○	○		○	

### 3.学習の留意点

- 授業中に学ぶ英単語や熟語を何度も反復練習し、しっかりと覚える。
- 授業中は作業に積極的に取り組む。提出物は期限内にきちんと出し、また自己管理する。
- 音読・暗唱など音声活動に前向きに取り組む。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	・パフォーマンステスト ・単元テスト	・パフォーマンステスト ・単元テスト	・パフォーマンステスト ・単元テスト	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4～7	Fighting Plastic Pollution 社会的な問題について英語で意見を述べる<使役動詞>	単元テスト
		Pigs from across the Sea 人を助ける職業について英語で説明できる<分詞構文>	単元テスト
		A Colorful Island 行ってみたい海外を話せる<関係代名詞>	単元テスト
二 学 期	8～12	With the Beatles 人気のある人について英語で話せる<比較級・最上級>	単元テスト
		Wild Men 身近な行事を英語で紹介できる<It～to,It～that>	単元テスト
		Little Hero 好きな物語を英語で紹介できる<間接疑問文>	単元テスト
三 学 期	1～3	Special Makeup in Kabuki 伝統文化を英語で説明できる<to不定詞> Seeds for Future Generations 地元で有名な場所やものを英語で説明できる<if>	単元テスト

教 科	英語
科 目 名	英語コミュニケーションⅡ
使用教科書	All Aboard English Communication II New Edition
副教材等	なし
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			○
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

①必要な情報を聞いたり、話し手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。②必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。③基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝え合うことができる。④基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝えることができる。⑤基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを文章に書いて伝えることができる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
		○	○		○	

### 3.学習の留意点

- 授業中に学ぶ英単語や熟語を何度も反復練習し、しっかりと覚える。
- 授業中は作業に積極的に取り組む。提出物は期限内にきちんと出し、また自己管理する。
- 発声、音読など主体的に取り組む。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・小テスト ・リスニングテスト ・単元テスト	・プリント提出 ・単元テスト	・学習活動に向かう態度 ・eラーニング ・単元テスト	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4～7	Little Hero 好きな物語を英語で紹介できる<間接疑問文>	単元テスト
		Special Makeup in Kabuki 伝統文化を英語で説明できる<to不定詞>	単元テスト
		Seeds for Future Generations 地元で有名な場所やものを英語で説明できる<if>	単元テスト
二 学 期	8～12	Over the Wall 世界の人々と交流する方法を英語で述べる<関係副詞>	単元テスト
		Inspiration from Nature 自然のデザインの製品を英語で発表する<知覚動詞>	単元テスト
		The Bitter Truth behind Chocolate 社会的な問題について英語で意見を述べる<使役動詞>	単元テスト
三 学 期	1	Fighting Angel 人を助ける職業について英語で説明することができる	単元テスト

教 科	英語
科 目 名	英語コミュニケーションⅡ
使用教科書	All Aboard English Communication II New Edition
副教材等	なし
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			○
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

①必要な情報を聞いたり、話し手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。②必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。③基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝え合うことができる。④基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝えることができる。⑤基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを文章に書いて伝えることができる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
		○	○		○	

### 3.学習の留意点

- 授業中に学ぶ英単語や熟語を何度も反復練習し、しっかりと覚える。
- 授業中は作業に積極的に取り組む。提出物は期限内にきちんと出し、また自己管理する。
- 発声、音読など主体的に取り組む。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	・小テスト ・リスニングテスト ・単元テスト	・プリント提出 ・単元テスト	・学習活動に向かう態度 ・eラーニング ・単元テスト	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4～7	Little Hero 好きな物語を英語で紹介できる<間接疑問文>	単元テスト
		Special Makeup in Kabuki 伝統文化を英語で説明できる<to不定詞>	単元テスト
		Seeds for Future Generations 地元で有名な場所やものを英語で説明できる<if>	単元テスト
二 学 期	8～12	Over the Wall 世界の人々と交流する方法を英語で述べる<関係副詞>	単元テスト
		Inspiration from Nature 自然のデザインの製品を英語で発表する<知覚動詞>	単元テスト
		The Bitter Truth behind Chocolate 社会的な問題について英語で意見を述べる<使役動詞>	単元テスト
三 学 期	1	Fighting Angel 人を助ける職業について英語で説明することができる	単元テスト

教 科	英語
科 目 名	論理・表現Ⅰ
使用教科書	Vista Logic and Expression I (三省堂)
副教材等	Brains eラーニング AI Speaking テスト Pro
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普 通 科	全員			
	選択			○
園芸デザイン科				
家 政 科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

話す（やり取り）、発表、書くことを通して、論理の構成や展開の工夫をして、話したり、書いたりして伝える、もしくは伝えあうことなどができるようになる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
		○	○		○	

### 3.学習の留意点

- （1）ペアやグループ活動などの形態や、掲示課題を変えたりしながら言語活動を繰り返し、慣れる。
- （2）デモンストレーションやモデルとなる文章を活用しながら、話したり書いたりして伝えることができるようにする。
- （3）提出物は決められた期限を守って必ず出し、返却された後はなくさないように自己管理する。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	・パフォーマンステスト ・単元テスト	・パフォーマンステスト ・単元テスト	・パフォーマンステスト ・単元テスト	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考		
一 学 期	4～7	1課 Bouldering? How Nice! <共感・発表の始めと終わり>現在形(be動詞 / 一般動詞) 2課 Famous People 過去形(be動詞 / 一般動詞) <許可・誘い・提案> 3課 Aquarium Adventure 現在進行形/過去進行形、4課 My Summer Plan 未来表現(will/be going to)5課 UFO Sightings <聴衆を引きつける、メールの挨拶>6課 Homestay 現在完了(経験/継続/完了/現在完了進行形) 7課 Which is faster? 8課 Great inventions <驚く、理由を述べる>比較(比較級/最上級/as...as~) /助動詞(can,may)	単元テスト  単元テスト  単元テスト		
		二 学 期	8～12	9課 Save the Earth<事実を伝える・同意する>10課 Masterpiece 助動詞(must/have to/should)/受動態 <順序を述べる・出典・引用を示す>不定詞(名詞・副詞・形容詞的用法) 11課 My Future Job 12課 World Heritage <順序を述べる・出典・引用を示す>不定詞(名詞・副詞・形容詞的用法) 13課 Pictogram 14課 Cool Japan <図表を説明する・例を挙げる>現在・過去分詞・関係代名詞 15課 What's SDGs?	単元テスト  単元テスト
		三 学 期	1	まとめ	まとめ

教 科	英語
科 目 名	論理・表現Ⅰ
使用教科書	Vista Logic and Expression I (三省堂)
副教材等	Brains eラーニング AI Speaking テスト Pro
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				○
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

話す（やり取り）、発表、書くことを通して、論理の構成や展開の工夫をして、話したり、書いたりして伝える、もしくは伝えあうことなどができるようになる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
		○	○		○	

### 3.学習の留意点

- ペアやグループ活動などの形態や、掲示課題を変えたりしながら言語活動を繰り返し、慣れる。
- デモンストレーションやモデルとなる文章を活用しながら、話したり書いたりして伝えることができるようにする。
- 提出物は決められた期限を守って必ず出し、返却された後はなくさないように自己管理する。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・パフォーマンステスト ・単元テスト	・パフォーマンステスト ・単元テスト	・パフォーマンステスト ・単元テスト	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4～7	1課 Bouldering? How Nice! <共感・発表の始めと終わり>現在形(be動詞 / 一般動詞) 2課 Famous People 過去形(be動詞 / 一般動詞) <許可・誘い・提案> 3課 Aquarium Adventure 現在進行形/過去進行形、4課 My Summer Plan 未来表現(will/be going to)5課 UFO Sightings <聴衆を引きつける、メールの挨拶>6課 Homestay 現在完了(経験/継続/完了/現在完了進行形) 7課 Which is faster? 8課 Great inventions <驚く、理由を述べる>比較(比較級/最上級/as...as~) /助動詞(can,may)	単元テスト  単元テスト  単元テスト
		9課 Save the Earth<事実を伝える・同意する>10課 Masterpiece 助動詞(must/have to/should)/受動態 <順序を述べる・出典・引用を示す>不定詞(名詞・副詞・形容詞的用法) 11課 My Future Job	単元テスト  単元テスト
		12課 World Heritage <順序を述べる・出典・引用を示す>不定詞(名詞・副詞・形容詞的用法) 13課 Pictogram 14課 Cool Japan <図表を説明する・例を挙げる>現在・過去分詞・関係代名詞 15課 What's SDGs?	
三 学 期	1	まとめ	まとめ



教 科	家庭
科 目 名	家庭基礎
使用教科書	家庭基礎 気づく力 築く未来 (実教出版)
副教材等	家庭基礎学習ノート
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員	○		
	選択			
園芸デザイン科		○		
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- ・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図り、それらに係る技術・技能を身に付けるようにする。
- ・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定、解決策を構想・実践、評価・改善、考察したことを科学的な根拠に基づき論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- ・様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活文化を継承し、主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・教科書・ノートを用意する。
- ・話をよく聞き、プリント類やノート・ファイル整理は各自でしっかりと行う。
- ・忘れ物はしない。提出物は、期限を守る。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	・生活に関する課題を解決するため、必要な基礎的・基本的な技術を身につけることができる。 ・生活の充実向上にむけて必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。	・生活にかかわる課題を見つけ、課題解決のため思考を深めて、判断できる。また、自分の考えを表現することができる。	・自立した生活に向けて、意欲的に学習に取り組もうとしている。 ・生活に関心をもち、その充実・向上をめざして意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけようとする。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	オリエンテーション	1学期評価期間
	5	1編 人とかかわって生きる ・自分らしい生き方と家族：ライフサイクルと家族、家族に関する法律 ・子どもとかわる：赤ちゃんの能力、身体と心の発達、生活習慣、食生活、遊び、折り紙、物語の朗読	
	6	・高齢者とかわる：高齢社会の現状と課題、高齢者の心身の特徴や生活、介護保険制度	
	7	3編 消費者として自立する ・消費行動を考える：意思決定のプロセス、契約・クーリングオフ制度、消費者信用、消費者問題、消費者行政、循環型社会、地球温暖化	
二 学 期	8	2編 生活をつくる	2学期仮評価期間
	9	・衣生活をつくる：衣服の機能、衣服素材の種類と特徴、衣服の手入れ、洗剤の働き、基礎縫い、資源・環境・安全な衣生活	
	10	・住生活をつくる：住まいの機能、平面表示記号、日照採光・照明・通風・換気、バリアフリー、ユニバーサルデザイン	
11	・食生活をつくる：5大栄養素、その特徴と調理性、食品の表示、食中毒、食品添加物、食事摂取基準と食品群別摂取量のめやす、調理室の使い方	2学期評価期間	
三 学 期	1	調理の基礎、食生活の現状と課題	学年末評価期間
	2	3 消費者として自立する ・経済的に自立する：家計、家庭経済と家計管理、一人暮らし、人生設計と経済計画	
	3		

教 科	家庭
科 目 名	家庭総合
使用教科書	家庭総合（実教出版）
副教材等	オールガイド食品成分表（実教出版） 家庭総合学習ノート（実教出版） 家庭科問題集 基礎編
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員	○		
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、食生活などに関する知識と技術を総合的に習得し、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につける

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・教科書・ノートを用意する。
- ・話をよく聞き、プリント類やノート・ファイル整理は各自でしっかりと行う。
- ・忘れ物はしない。提出物は、期限を守る。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義や社会の関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な内容について理解しているとともに、それらに関わる技能を身につけている。食物調理技術検定4級に相当する技術を身につけている。	生涯を見通して、生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	様々な人々と協働し、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	自分らしい生き方と家族 オリエンテーション・家庭クラブについて 自分を見つめる	総合的な探究の時間と連携
	5	自立した生き方 共に生きる家族 (ホームプロジェクト学習について知る)	総合的な探究の時間と連携
	6	家族に関する法律 私たちの生活を支える労働と生活時間	1学期評価期間
	7	食物調理技術検定4級模擬 (ホームプロジェクトの計画・実施)	総合的な探究の時間と連携
二 学 期	8	食生活をつくる 人と食物のかかわり (ホームプロジェクトのまとめ)	総合的な探究の時間と連携
	9	私たちの食生活 栄養と食品のかかわり	2学期仮評価期間
	10	食事の計画と調理 (クラス内研究発表会)	総合的な探究の時間と連携
	11	食品の選び方と安全	
12	これからの食生活を考える 子どもとかわる 子どもを知る	2学期評価期間	
三 学 期	1	発達のすばらしさ 子どもの生活 調理実習	
	2	親になることを考えよう すこやかに育つ環境	学年末評価期間
	3	1年間のまとめ	

教 科	家庭
科 目 名	家庭総合
使用教科書	家庭総合（実教出版）
副教材等	家庭総合学習ノート
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員		○	
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、食生活などに関する知識と技術を総合的に習得し、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につける。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ①教科書、ノートを用意する。②忘れ物はしない。提出物は期限を守る。  
 ③話をよく聞き、プリント類やノート・ファイル整理は各自でしっかりと行う。  
 ④生活の中から課題を見つけ、ホームプロジェクトにつなげる。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	生活を主体的に営むために必要な内容について理解しているとともに、それらに関わる技術を身につけている。	生涯を見通して、生活の中から問題を見出し、課題を設定、解決策を構想する。実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて解決する能力を身につけている。	様々な人々と協働し、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善し、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	衣生活をつくる 人と衣服の関わり 衣服の機能 衣服を作ろう 被服製作	1学期評価期間
	5		
	6		
二 学 期	7	ホームプロジェクト ホームプロジェクトの計画と実施	2学期仮評価期間  2学期評価期間
	8	衣生活をつくる ホームプロジェクトのまとめ	
	9	衣生活の管理・衣生活と資源・環境 すべての人が快適な衣生活	
	10	高齢者とかがわる 高齢社会に生きる 高齢者を知る 高齢者の自立を支える 高齢社会を支えるしくみ	
	11	社会とかがわる 支えあって生きる 共生社会を生きる	
三 学 期	12	住生活をつくる 人間と住まい 住まいの文化 住まいの計画 健康に配慮した快適な環境 安全な住まい 持続可能な住まいづくり	学年末評価期間
	1	消費者活動を考える 消費行動と意思決定 消費生活の現状と課題 消費者の権利と責任	
	2	経済的に自立する 暮らしと経済 将来のライフプランニング	
期	3	1年間のまとめ	

教 科	商業
科 目 名	情報Ⅰ
使用教科書	情報処理（実教出版）
副教材等	全商情報処理検定模擬試験問題集3級 2025事例でわかる情報モラル
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員	○		
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

科目「情報Ⅰ」では、社会との関わりの中で、情報や情報技術に関する事柄を理解し、問題の発見・解決に向けて事象を情報とその結び付きの視点から捉え、情報技術を適切かつ効果的に活用する力を育む。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○		○	

### 3.学習の留意点

情報社会のモラルとマナーを理解し、ポイントを整理し、情報技術に関する事柄の理解を深める。個人に割り振られたID、パスワードを3年間（共通）使用し、ネット社会に対応する力を身に付ける。また、社会に出て即戦力として貢献できる職業人を育成するために検定資格の取得を目指す。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	情報技術を積極的に学び知識を得ることで実社会において効果的に活用できる技能を身に着けたかを評価する。	情報モラルを踏まえて、思考・判断・表現が適切にできることを評価する。	積極的に情報社会に参加する態度や資格取得等の技術向上を目指す態度を評価する。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	序章 情報社会と私たち 情報社会の特徴と責任について学ぶ。	
	5	1章 情報社会と問題解決 情報セキュリティと対策について学ぶ。	
	6	3章 情報とコンピュータ ハードウェアとソフトウェアなど情報処理検定3級程度の基礎用語についてテキストを使用して学習する。	
	7		
二 学 期	8	2章 コミュニケーションと情報デザイン① wordの基本操作やキーボードの入力について実習を行う。	
	9		
	10	4章 アルゴリズムとプログラム 表計算ソフトの基本的な関数について実習を行う。	
	11	5章 モデル化とデータの活用	
	12	データの収集や分析について学ぶ。	
三 学 期	1	情報処理検定試験への取組。	
	2	2章 コミュニケーションと情報デザイン②	
	3	情報デザインと表現の工夫について学ぶ。	

教 科	農業
科 目 名	農業と環境
使用教科書	農業と環境 (実教出版)
副教材等	なし
単位数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科		○		
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

(1) 社会環境について農業的な思考による実践的・体験的な学習活動を行い職業人として必要な資質・能力を育成する。
(2) 農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

(1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
(2) 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
(3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学ぶ力を養う。
(4) 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	①植物の特性を理解している ②作物栽培方法を理解している ③作物栽培の技術を習得している	①生育ステージごとの管理ができる ②収穫物の利用ができる ③学習の成果が認識できる	①学習態度 (私語、姿勢、忘れ物等) ②課題を最後までやり遂げる ③協力しながら学んでいる ④学習課題の設定ができる	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	1 農業と環境を学ぶ (1) 農業学習とは何か (2) 農業と環境の学び方	1 学期評価期間 科目内考査・実技試験実施 必要に応じて単元テスト実施
	5	2 農業クラブとは 3 意見発表会と技術競技会に向けて	
	6	4 私たちの暮らしと農業 (1) 農業と食糧供給 (2) 農業と農村の役割	
	7	5 作物の特性と栽培のしくみ 6 栽培の基礎と栽培実習 (種まきから収穫・利用) (1) 作物の種類と栽培生育特性 (2) カボチャとエダマメの栽培	
	8	7 作物の栽培管理学習 (1) 各生育ステージの生育特性 (2) 生育ステージにおける栽培管理実習 (3) カボチャとエダマメの栽培	
	9	8 学校農業クラブ活動 (1) 農業クラブ行事について (2) プロジェクト学習の進め方	
	10	9 農業と食糧供給 (1) 農業技術と食料生産 (2) 食料の流通・消費と食品産業	
二 学 期	11	10 農業と農村の役割 (1) 食料の生産・供給機能 (2) 地域活性化の原動力 (3) 国土・環境保全機能 (4) 農村の価値創生	2 学期評価期間 科目内考査・実技試験実施 必要に応じて単元テスト実施
	12		
三 学 期	1	12 今年度の農業学習を振り返って 13 次年度の農業学習をに向けて	3 学期評価期間 科目内考査・実技試験実施 必要に応じて単元テスト実施
	2	14 環境保全と農業 15 私たちのなすべきこと	
	3		

教 科	農業
科 目 名	課題研究
使用教科書	なし
副教材等	なし
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科			○	○
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどをおして、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身につけるようにする。
- (2) 農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わるものとして解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○		○	

### 3.学習の留意点

- (1) 生徒の自発的な活動を促すようなアプローチを心がける。
- (2) R (リサーチ) P (計画) D (実践) C (評価) A (改善) の定着を図る。
- (3) 計画的に研究が進められ、実験実習が検証できていることを確認する。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	○研究テーマや関連項目、事象について十分に理解を深めているか。	○実践内容を振り返り、科学的な分析を踏まえた検証ができているか。また、今後に生かせるようなレポート作成となっているか。	○研究活動に対して、能動的な態度で取り組むことができているか。 ○班員が協力して、学び合い、教え合いを行うこととともに高め合っているか。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	プロジェクト学習の進め方	考査は行わず、上記観点でどれだけ毎時取り組むことができてきているか評価する。また、大会においてどれだけ成果を残せたかも評価に加味する。
	5	1 研究テーマを探す。(関連教科より調査したいこと話し合いで決める。)	
	6	2 テーマ決定後→テーマ関連項目についての調査する。(Research)	
	7	3 仮説を確かめるための実験実習の計画を立てる。(Plan)	
二 学 期	8	4 計画の通り、実験実習を行う。その際、できるだけ詳細に記録をとる。(Do)	
	9	5 実験・実習の結果から科学的・社会的な根拠を元に考察を行う。(グラフ化→見える化) (Check)	
	10.	6 実験・検証データをもとにスライド化して、成果を振り返るとともに、改善点を見つけ出す。(Action)	
	11.	専攻班は、水稲・作物 野菜 草花 食品加工の4部門で行う。	
三 学 期	1	※年間通じて、計画的な実験実習や振り返りを行う。 ※発表会にプレゼン発表する。	
	2	1 校内大会(12月中旬) 2 地域大会(6月中旬) 3 全道大会(8月下旬)	
	3	4 全国大会(10月下旬) 入賞すれば順に上位大会へ進出する。	

教 科	農業
科 目 名	総合実習
使用教科書	なし
副教材等	なし
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科		○		
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- (1) 農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。  
(2) 農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。  
(3) 農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○		○	

### 3.学習の留意点

- (1) 農業の基礎基本の定着・意欲向上に努める。  
(2) 実習において特に安全教育に十分配慮する。  
(3) 正しい服装・格好を遵守し、農業に真摯に向き合う姿勢を養う。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	実習の成果から評価します。実習の開始前に説明したことを理解し、しっかりと取り組むことが大前提となります。	実習を通じて、自ら考え実践するなど、考えるながら行動する習慣を身につけたものです。実習状況を通して評価します。	授業へ取り組む姿勢を評価します。積極的に参加する姿勢は高く評価します。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	1 農業実習を安全に行うための基礎基本を理解する。	実習に向き合う態度や取り組み状況から、3観点での評価をする。
	5	2 正しい更衣室の利用方法と補助管理・整備の方法 3 各分野の基礎実習	
	6	(1) 水稲・作物(作物の分類と特性の違いを理解する)	
	7	(2) 野菜(野菜類の栽培方法や特性を理解する) (3) 草花(草花の種類や特性の違いを理解する) (4) 食品加工(食品の衛生管理方法を習得する。)	
二 学 期	8	4 各分野の専門的な実習	
	9	(1) 水稲・作物(カボチャ栽培やイネ栽培等をとおして栽培技術を習得する。)	
	10.	(2) 野菜(畑作りの基礎から収穫までの栽培技術を習得する)	
	11.	(3) 草花(播種から灌水管理方法を習得する。) (4) 食品加工(食品加工の意義や目的を理解し、加工技術を習得する。)	
三 学 期	12.		
	1	5 農業クラブ活動のプロジェクト学習の進め方	
	2	～Plan Do Check Action～の設定方法	
	3		

教 科	農業
科 目 名	総合実習
使用教科書	作物（実教出版）
副教材等	なし
単位数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				○
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- (1) 社会環境について農業的な思考による実践的・体験的な学習活動を行い職業人として必要な資質・能力を育成する。  
(2) 農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- (1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。  
(2) 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。  
(3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学ぶ力を養う。  
(4) 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	①植物の特性を理解している ②作物栽培方法を理解している ③作物栽培の技術を習得している ④農業の役割を理解している ⑤基礎的な農業用語を理解している	①生育ステージごとの管理ができる ②収穫物の利用ができる ③学習の成果が認識できる ④プレゼンテーションができる ⑤環境保全に向けた行動ができる	①学習態度 (私語、姿勢、忘れ物等) ②課題を最後までやり遂げる ③協力しながら学んでいる ④学習課題の設定ができる	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学期	月	単元名・学習内容	備考
一学期	4	1 - 作物生産の役割と動向	1 学期評価期間 科目内考査・実技試験実施 必要に応じて単元テスト実施
	5	2 - 作物の特性と栽培技術 (1) [作物栽培の実際①] スイートコーン・ジャガイモ・ネギ・タマネギの栽培技術	
	6	(2) [作物栽培の実際②] 播種・施肥・管理・生育調査 (3) [作物栽培の実際③] 収穫・出荷調整・販売	
二学期	7	3 - [プロジェクト学習] (1)学習テーマ①「播種期分散による連続収穫」 対象作物～スイートコーン・ネギ・(エダマメ)	2 学期評価期間 科目内考査・実技試験実施 必要に応じて単元テスト実施
	8	(2)学習テーマ②「食材活用法」 対象作物～スイートコーン・ジャガイモ・ネギ・タマネギ	
	9	(3)学習テーマ③「二毛作への挑戦」 対象作物～スイートコーンおよびエダマメの後作品目の選定	
	10	4 - [利用方法] 食材としての活用 対象作物～スイートコーン・ジャガイモ・ネギ・タマネギ	
	11	5 -今年度の農業学習を振り返って・プロジェクトのまとめ	
	12	6 -次年度の農業学習に向けて(プロジェクトの後輩への引き継ぎ)	
	12	7 -当別町の農業と本校の作物栽培	
三学期	1	8 -作物栽培を通して私たちのできること	3 学期評価期間 科目内考査・実技試験実施 必要に応じて単元テスト実施
	2		
	3		



教 科	農業
科 目 名	農業と情報
使用教科書	農業と情報(実教出版)
副教材等	ビジネス文章実務検定 模擬試験問題集3級
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科		○		
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業に関する情報を主体的に活用するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

- 1 情報化社会における情報管理や端末の基本的な操作・管理方法を理解する。
- 2 文書作成ソフト『ワード』による基本的な文書作成技術を身につける。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
			○		○	

### 3.学習の留意点

- (1) わからないことはその場で積極的に質問する。
- (2) 正しい姿勢でパソコンを操作するよう努める。
- (3) ビジネス文書実務検定3級取得に向けて、あきらめず地道に練習を積み重ねる。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	○PCの基本的操作・知識 ○文書種類や作成法の理解 ○タイピングの正確さと速度 ○アプリケーションソフトの操作活用	○状況に応じた機器やソフトの活用 ○情報化社会に適した思考	○学習態度 (私語、姿勢、忘れ物等) ○課題を最後までやり遂げる	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	1 情報モラルとセキュリティ ～情報モラル・個人情報の取り扱い等、PC室の使用法	適宜確認テスト
	5	2 ワープロの基本操作 ～入力・保存・読み込み・ローマ字入力	
	6	3 文章の編集 ～文章作成問題の反復練習	
	7	4 プログラミングの基礎Ⅰ	
二 学 期	8	5 プログラミングの基礎Ⅱ	適宜確認テスト
	9	6 ワープロ検定模擬問題 ～筆記問題・速度問題・文章作成の反復練習	
	10.		
	11.	7 PCによる情報の活用 ～表計算ソフトウェアの機能を理解し、表計算の特徴を理解する。	
三 学 期	1	表計算ソフトウェアの基本操作を理解する。 関数の利用方法を理解し、情報処理の重要性を理解する。	適宜確認テスト
	2		
	3		

教 科	農業
科 目 名	農業と情報
使用教科書	7実教 農業702
副教材等	全商情報処理検定テキスト3級 R6全商ビジネス文書実務検定テキスト (実教出版)
単位数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科			○	
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- ①文書を正しく早く入力できる。ワード（ワード）ソフトを活用して、チラシ等のデザイン文書を制作出来る。
- ②表計算（エクセル）ソフトを用いて、データの整理、分析を効率よく出来る（農業学習に活用）。
- ③プレゼンテーション（パワーポイント）ソフトを用いて資料を作成し、分かりやすいプレゼンの企画・発表が出来る。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
		○	○	○	○	

### 3.学習の留意点

- ①指定の席に着席、機器（不備）を確認。話をよく聞きコンピュータを操作する。何かあったら直ちに申し出る。（勝手な操作は故障原因となる）
- ②誤った情報やプライバシーにかかわる情報の扱いに十分に注意する。（著作権の侵害等も）
- ③反復練習を繰り返し、各種ソフトの操作を身につけられるよう努力する。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	・入力、表作成ができる。 ・関数/表計算の利用方法を理解し、効率的に利用できる。	・学んだ知識や技能を生かして、適切な判断の下に資料や作品を作れる。	・演習活動において、ひたむきに知識・技能を向上させるために取り組むことができる。 (入力速度・課題の達成)	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	プログラムについて：発展的なプログラム1・2	速度/実技【毎時】 ※毎回の課題確認 学科問題 (単元テスト)
	5	(毎スタート時に10分間の速度・入力練習を行う。ビジネス文書実務の復習)	
	6	・表計算ソフト使用：エクセルで集計や分析を効率的に進められる事を実感する。	
	7	・数学/三角関数等：SUM、ROUND、ROUNDUP/DOWN、AVERAGE、COUNT、MAX、MIN、RANK等の使用を的確に行える。	
二 学 期	8	・論理、検索：IF、AND、VLOOKUP等の使用を的確に行える。	速度/実技【毎時】 ※毎回の課題確認 学科問題 (単元テスト)
	9	・エクセル用語の確認：エクセルに用いる各種アイコンや関数を覚える。	
	10	・実技応用問題：分析に適したグラフを選び、考察等しやすいよう加工出来る。	
	11	・実技応用問題：・問題を理解し、適した関数を用いて表を作成出来る。	
	12	・ワードソフトの活用：例題に取り組み、写真入りのチラシ等を作成出来る。	
三 学 期	1	・プレゼンテーションソフトの活用：パワーポイントの操作や機能を覚え資料が作れる。	
	2	・分かりやすい資料とは：作成手順を理解し実際に作成が出来る。(原稿から)	
	3	・効果的演出（動画等）：実際にスライドを作成出来る。(写真、アニメーション、グラフ等)	

教 科	農業
科 目 名	作物
使用教科書	作物（実教出版）
副教材等	なし
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科			○	
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

<p>(1) 社会環境について農業的な思考による実践的・体験的な学習活動を行い職業人として必要な資質・能力を育成する。</p> <p>(2) 農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。</p>
--

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

<p>(1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学ぶ力を養う。</p> <p>(4) 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。</p>
---

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	①植物の特性を理解している ②作物栽培方法を理解している ③作物栽培の技術を習得している ④農業の役割を理解している ⑤基礎的な農業用語を理解している	①生育ステージごとの管理ができる ②収穫物の利用ができる ③学習の成果が認識できる ④プレゼンテーションができる ⑤環境保全に向けた行動ができる	①学習態度 (私語、姿勢、忘れ物等) ②課題を最後までやり遂げる ③協力しながら学んでいる ④学習課題の設定ができる	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	1－イネについて学ぶ (1)稲作文化 (2)イネの果たす役割 (3)イネの栽培学習	1 学期評価期間 科目内考査・実技試験実施 必要に応じて単元テスト実施
	5	2－イネ栽培の実際 (1) [イネの学習①] ハウス設置・種子の予措・播種・管理・生育調査	
	6	(2) [イネの学習②] 施肥・田植え・交流会・除草・生育調査	
	7	(3) [イネの学習③] 稲刈り・交流会・乾燥・もみすり・精米・出荷調整 (4) [イネの学習④] 販売・米の利用(試食会・活用方法の探究)	
	7	(5) [イネの学習④] プロジェクト発表会に向けて	
二 学 期	8	3－イネ育苗ハウスの有効利用 (1) [イネ育苗ハウスの有効利用] ミニトマトの栽培	2 学期評価期間 科目内考査・実技試験実施 必要に応じて単元テスト実施
	9	(2)播種、鉢上げ、鉢替え、施肥、耕起 (3)定植、生育調査、一般管理、収穫、販売	
	10	4－プロジェクト学習 (1)学習内容①「お米を利用した調理研究」	
	11	(2)学習内容②「水稻育苗ハウスの有効利用」	
	11	5－米の利用方法	
	12	6－これからの稲作	
	12	7－今年度の農業学習を振り返って・プロジェクトのまとめ 8－次年度の農業学習に向けて・次年度のプロジェクトについて	
三 学 期	1	9－当別町の農業と私たちの農業学習	3 学期評価期間 科目内考査・実技試験実施 必要に応じて単元テスト実施
2			
3			

教 科	農業
科 目 名	野菜
使用教科書	7実教 農業311
副教材等	農業と環境（農文教） 農業技術検定〈3級〉テキスト
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科			○	
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

1. 葉菜類・根菜類（ブロッコリー・レタス・セリ・大根・人参等）を栽培し、各植物の生育特徴やその管理技術を身につける。
2. 畝立て、マルチ張り、支柱立て・誘引/整枝等の作業技術や理論（作業の目的）を身につける。
3. 各野菜の収穫適期や収穫・調整（販売を意識した）方法を身につけ、商品として販売することを目指す。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

1. 実習においては服装を整え、自ら積極的に活動して下さい。（怪我をしない、させない）
2. 野菜の生育状況に関心を持ち、必要な管理作業内容（道具の選択）を考え、実践出来るようになって下さい。
3. 農業全般に関心を持ち、農業学習の基礎をしっかりと身につけて下さい。※農業技術検定学習は、作物・野菜・草花・食品製造・総探で実施。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物の生態や特徴を理解できる。変化がわかる。</li> <li>調整・調査方法等を理解して正しく実施できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習目的や内容、植物の特徴等を説明できる。</li> <li>グループ内で議論できる。</li> <li>レポート内容（考察等）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習態度。（私語・姿勢・忘れ物等）</li> <li>課題をやり遂げる。</li> </ul>	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	・苗作り、作付計画： 「販売会苗」移植・栽培管理、計画。（区画、株数、肥料等）	パフォーマンステスト 確認/単元テスト レポート
	5	・播種、苗作り、圃場準備： 播種（ブロッコリー、レタス、セリ等）、区画・畝立て・マルチング、定植。	
	6	・苗作り、圃場準備、管理：セリ等2種等の定植、ハーブ園管理等。	
	7	・栽培管理（10月片付け迄）：各野菜圃場管理（除草、低温/高温・防風・病虫害対策）、収穫調整（ニンニク）・販売。ニンジン・大根・白菜等播種。	
二 学 期	8	・【栽培管理～収穫継続】：各野菜圃場管理（除草、低温/高温・防風・病虫害対策）、ハーブ類試食、収穫調整・販売。	パフォーマンステスト 確認/単元テスト レポート
	9	・フェア用野菜栽培：アスパラ等、仔コ（ランナー）定植準備等。	
	10	・【〃継続】：セリ等試食【収量調査・品質評価】、収穫調整・販売（大根・レタス等）。ニンニク定植。	
	11	・【〃継続】：収穫調整（保存）・販売。圃場/ハウス/実習棟片付け。	
	12	・野菜栽培について：栽培まとめ（ポートフォリオ等）	
三 学 期	1	・病虫害について：ウィルス、細菌、カビ、線虫、栽培環境について	確認テスト レポート
	2	・野菜育苗について：栽培技術の実際と応用、苗販売会に向けて（計画）	
	3	・苗販売会に向けて（播種・移植）。 ・野菜の種類と特徴。生育特性と栽培環境調整技術等。	

教 科	農業
科 目 名	野菜
使用教科書	7実教 農業311
副教材等	農業と環境（農文教） 農業技術検定〈3級〉テキスト
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				○
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

1. 学んできた知識と技術を生かして、トマト・ナス、メロン、キュウリ、スィ等々を責任を持って栽培する。
2. 栽培する各種植物の生育特徴を知るとともに、基本的な管理技術と理論（作業の目的、方法等）を身につける。
3. 各野菜の収穫適期や収穫・調整（販売を意識した）方法を身につけ、商品として販売することを目指す。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

1. 実習においては服装を整え、自ら積極的に活動して下さい。（怪我をしない、させない）
2. 野菜の生育状況に関心を持ち、必要な管理作業内容（道具の選択）を考え、実践出来るようになって下さい。
3. 圃場植物（雑草や害虫と呼ばれる生物も）に興味を持ち、その活用方法や農場管理等を総合的に考えられるようになる！

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の生態や特徴を理解できる。変化がわかる。</li> <li>・調整・調査方法等を理解して正しく実施できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習目的や内容、植物の特徴等を説明できる。</li> <li>・グループ内で議論できる。</li> <li>・レポート内容（考察等）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習態度。（私語・姿勢・忘れ物等）</li> <li>・課題をやり遂げる。</li> </ul>	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
学 期	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苗作り、作付計画： 「販売会用苗」：移植・栽培管理、計画。（区画、株数、肥料）播種。</li> <li>・播種、苗作り、圃場準備：<u>接ぎ木</u>・移植（トマト、ナス、メロン、<u>キュウリ</u>、<u>スイカ</u>等）、区画・畝立て、<u>マルチ</u>、定植。</li> <li>・栽培管理（10月片付け迄）：支柱立て・誘引、整枝。病虫害防除管理（除草、低温/高温・防風・病虫害対策）、収穫調整・販売。</li> </ul>	パフォーマンステスト 確認/単元テスト レポート
	8 9 10 11 12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【栽培管理～収穫継続】：トマト、メロン等の試食、収穫調整・販売。</li> <li>・<u>ナス</u>・<u>ウリ</u>類ハス片付け→<u>フェア用野菜をハウスで栽培</u>：<u>おくら</u>、<u>コマツナ</u>、<u>アスパラ</u>、<u>ミニトマト</u>等播種（リレー栽培）・定植、収穫調整、販売。</li> <li>・ <b>圃場/ハウス/実習棟片付け。</b></li> <li>・野菜栽培について：栽培まとめ（ポートフォリオ等）</li> <li>・品種改良と繁殖。</li> </ul>	パフォーマンステスト 確認/単元テスト レポート
三 学 期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培環境と生育調節について</li> </ul>	レポート

教 科	農業
科 目 名	草花
使用教科書	草花7 (実教出版)
副教材等	なし
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科			○	
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- (1) 社会環境について農業的な思考による実践的・体験的な学習活動を行い職業人として必要な資質・能力を育成する。  
(2) 農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- (1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。  
(2) 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。  
(3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学ぶ力を養う。  
(4) 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	①植物の特性を理解している ②作物栽培方法を理解している ③作物栽培の技術を習得している ④農業の役割を理解している ⑤基礎的な農業用語を理解している	①生育ステージごとの管理ができる ②収穫物の利用ができる ③学習の成果が認識できる ④プレゼンテーションができる ⑤環境保全に向けた行動ができる	①学習態度 (私語、姿勢、忘れ物等) ②課題を最後までやり遂げる ③協力しながら学んでいる ④学習課題の設定ができる	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	<b>草花園芸の特徴</b> 草花の生産特徴 草花の種類 生産形態 花壇のデザイン 春花壇苗を使った寄せ植えデザイン 販売実習	
	5	<b>夏花壇苗の生産</b> 移植 追肥 灌水 など 技術の習得 夏花壇のデザイン	
	6	<b>夏花壇の造成</b> ホテルライフオート札幌前庭花壇	
	7	<b>秋花壇苗の生産</b> 移植 追肥 灌水 など 技術の習得 <b>ドライフラワー 切り花栽培 観賞用カボチャ栽培</b> 切り花の生産・出荷方法 ドライフラワーの加工	
二 学 期	8	<b>秋花壇の造成</b> ホテルライフオート札幌前庭花壇	
	9		
	10	<b>イベントと草花デザイン</b> 母の日 お盆 ハロウィン クリスマス 正月 <b>冬の鉢花の生産</b> シクラメン ポインセチア	
	11		
12	<b>春花壇苗の生産</b>		
三 学 期	1	<b>フラワーデザイン技術の習得</b> アレンジメント 花束 プトニア <b>北海道の草花生産について</b> 草花の生産と経営	
	2		
	3		

教 科	農業
科 目 名	草花
使用教科書	草花7 (実教出版)
副教材等	なし
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				○
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- (1) 社会環境について農業的な思考による実践的・体験的な学習活動を行い職業人として必要な資質・能力を育成する。  
(2) 農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- (1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。  
(2) 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。  
(3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学ぶ力を養う。  
(4) 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	①植物の特性を理解している ②作物栽培方法を理解している ③作物栽培の技術を習得している ④農業の役割を理解している ⑤基礎的な農業用語を理解している	①生育ステージごとの管理ができる ②収穫物の利用ができる ③学習の成果が認識できる ④プレゼンテーションができる ⑤環境保全に向けた行動ができる	①学習態度 (私語、姿勢、忘れ物等) ②課題を最後までやり遂げる ③協力しながら学んでいる ④学習課題の設定ができる	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	<b>草花園芸の特徴</b> 草花の生産特徴 草花の種類 生産形態 花壇のデザイン 春花壇苗を使った寄せ植えデザイン 販売実習	
	5	<b>夏花壇苗の生産</b> 移植 追肥 灌水 など 技術の習得 夏花壇のデザイン	
	6	<b>夏花壇の造成</b> ホテルライフオート札幌前庭花壇	
	7	<b>秋花壇苗の生産</b> 移植 追肥 灌水 など 技術の習得 <b>ドライフラワー 切り花栽培 観賞用カボチャ栽培</b> 切り花の生産・出荷方法 ドライフラワーの加工	
二 学 期	8	<b>冬の鉢花の生産</b> シクラメン ポインセチア 移植 追肥 葉組み など	
	9	<b>フラワーデザインの提案</b> スワッグ リース その他	
	10		
	11	<b>冬の鉢花販売</b>	
三 学 期	12	<b>春花壇苗の生産</b> 播種	
	1	<b>卒業記念作品作成</b> <b>北海道の草花生産について</b> 草花の生産と経営のまとめ	
	2		
	3		

教 科	農業
科 目 名	食品製造
使用教科書	7実教 農業326 食品製造
副教材等	なし
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科			○	
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことをとおして、食品製造に必要な資質能力を次のとおり育成する。

- 食品製造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。
- 食品製造に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わるものとして合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 食品製造について生産性や品質の向上が経営発展につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○		○	

### 3.学習の留意点

- プロジェクト学習を基本とします。そのため積極的な授業参加してください。
- 単元ごとにレポート作成を行います。ただ提出するだけでなく、内容が詰まったレポート作成を心がけてください。
- 体験・実験等の記録のまとめをプレゼンします。見やすくわかりやすくを意識して作成してください。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	○基本的な知識・技能を習得できたか。 ○実習で得た知識を生かしているか。	○知識・技能を生かして課題解決できる力が身についたか。 ○グループワークで論述 ○レポートの内容充実度合い	○自ら学ぼうとしているか。 ○あきらめず知識・技術を身につけようとしている。 ○自らの考えや意見を表現できているか。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	1 食品加工の意義 ～食品加工の特性を理解する。	適宜確認テスト
	5	2 食品施設の衛生管理の徹底とHACCP的な考え方を理解する。	
	6	3 加工原料の栽培方法を理解する。(トマト栽培方法の理解)	
	7	4 トマトを原料とした加工品製造 (1) トマトピューレの製造 (2) トマトケチャップの製造	
二 学 期	8	(3) トマトジュースの製造	適宜確認テスト
	9	5 小麦粉を利用した加工品製造 (1) パウンドケーキ製造 (2) 菓子類製造(クッキー・ビスケット)	
	10.	(3) スコーン製造 (4) パンの製造	
	11.	6 果実類の加工 (1) 果実ジャムの製造	
	12.		
三 学 期	1	7 農産加工品の原理を科学的な見地から理解する。	適宜確認テスト
	2	8 加工品を商品化し、販売するまでのマーケットを理解する。	
	3		



教 科	農業
科 目 名	生物活用
使用教科書	7実教 農業326 食品製造
副教材等	なし
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				○
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことをとおして、食品製造に必要な資質能力を次のとおり育成する。

- 食品製造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。
- 食品製造に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わるものとして合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 食品製造について生産性や品質の向上が経営発展につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○		○	

### 3.学習の留意点

- プロジェクト学習を基本とします。そのため積極的な授業参加してください。
- 単元ごとにレポート作成を行います。ただ提出するだけでなく、内容が詰まったレポート作成を心がけてください。
- 体験・実験等の記録のまとめをプレゼンします。見やすくわかりやすくを意識して作成してください。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	○基本的な知識・技能を習得できたか。 ○実習で得た知識を生かしているか。	○知識・技能を生かして課題解決できる力が身についたか。 ○グループワークで論述 ○レポートの内容充実度合い	○自ら学ぼうとしているか。 ○あきらめず知識・技術を身につけようとしている。 ○自らの考えや意見を表現できているか。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	1 食品施設の衛生管理の徹底とHACCP的な考え方を元に実習を組み立てる。(記録データの整理)	適宜確認テスト
	5	2 トマトを原料とした加工品製造 (1) トマトピューレの製造 → ピザの製造	
	6	(2) トマトケチャップの製造 (3) トマトジュースの製造 → 原価計算 → 販売活動をととしてフードシステムを学ぶ。	
	7		
二 学 期	8	3 小麦粉を利用した加工品製造・販売 (1) パウンドケーキ製造・販売先開拓・販売	適宜確認テスト
	9	(2) 菓子類製造(クッキー・ビスケット) (3) スコーン製造	
	10.	(4) パンの製造・販売	
	11.	4 果実類の加工 (1) 果実ジャムの製造・販売	
三 学 期	1	5 農産加工品の原理を科学的な見地から理解する。	適宜確認テスト
	2	6 加工品を商品化し、販売するまでのマーケットを理解する。	
	3		

教 科	商業
科 目 名	簿記(選択)
使用教科書	高校簿記(実教出版)
副教材等	反復式 学習と検定 簿記問題集 全商3級(改訂版) 令和7年度版 全商 簿記実務検定模擬試験問題集 3級
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			○
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

企業において日常発生する取引を記録・計算・整理する知識と技術を習得し、簿記の基本的な仕組みについて理解します。帳簿や財務諸表を通して、ビジネスに携わる者としての科学的な根拠に基づき創造的に課題に対応する力を身に着けます。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○		○	

### 3.学習の留意点

簿記の目的や資産・負債・資本・収益・費用の概念、財務諸表の役割と構造について理解を深める。  
適正な取引記録と財務諸表の作成ができるようになる。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	様々な処理法や記帳法について基本的な知識と技術を身に着け、適切に処理できることを評価する。	ビジネスの諸活動を計数的に把握し、的確に処理するとともに、その成果を適切に表現する態度を評価する。	積極的に授業に参加する態度や演算処理に積極的に取り組むことができるかを評価する。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	第Ⅰ編 簿記の基礎 簿記の意味、目的、役割を理解する。	
	5	第Ⅱ編 取引の記帳と決算Ⅰ 簿記上の取引の意味と種類を理解する。	
	6	貸借対照表と損益計算書について理解する。	
	7	第Ⅲ編 取引の記帳と決算Ⅱ 精算表の意味について理解する。	
二 学 期	8	取引から仕訳、決算報告までの一連の流れを学ぶことにより決算の必要性や重要性、複式簿記の基本的な仕組みを実習的体系的に理解する。	
	9		
	10	第Ⅳ編 帳簿と3伝票制	
	11		
三 学 期	12	第Ⅴ編 取引の記帳と決算Ⅲ 会計業務の一連の流れについて検定問題を用いて学ぶ。	
	1	検定試験への取り組み。	

教 科	商業
科 目 名	情報処理
使用教科書	情報処理（実教出版）
副教材等	全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題集2級 学習と検定 Excelで学ぶ全商情報処理検定テキスト2級 2019/2016/2013対応
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員		○	
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

「商業（ビジネス）に関するスペシャリスト」として、実社会で「コンピュータを活用できる力」を身に付けることを学習目標としています。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○		○	

### 3.学習の留意点

アプリケーションソフトの効果的な利用方法や利用技術を学習し、実社会で「コンピュータを活用できる力」を身に付ける。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	情報技術を積極的に学び知識を得ることで実社会において効果的に活用できる技能を身に着けたかを評価する。	情報モラルを踏まえて、思考・判断・表現が適切にできることを評価する。	主体的に情報社会に参加する態度や資格取得等の技術向上を目指す態度を評価する。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	第4章 ビジネス文書の作成	
	5	wordの基本操作やキーボードの入力について実習を行う。	
	6	（7月ビジネス文書実務検定試験(速度部門)への取組み) ソフトウェアを利用し社外文書や報告書等のビジネス文書を作成する。	
	7	応用文書の作成	
二 学 期	8	第1章 企業活動と情報処理	
	9	情報社会の一員として適切に行動するために必要なルールやモラル・	
	10	マナーを学ぶ。	
	11	（11月ビジネス文書実務検定試験(文書部門)への取組み)	
12	第3章 情報の集計と分析 表計算ソフトウェアを利用し、より高度な処理結果を表現する。 （1月情報処理検定(ビジネス情報部門)への取組み) ビジネスにおける表計算ソフトウェアの利用を通じ処理結果を表現する。		
三 学 期	1		
	2	第2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク	
	3	基本的な知識と技術について学習する。	

教 科	家庭
科 目 名	生活産業基礎
使用教科書	生活産業基礎（実教出版）
副教材等	楽しく学べるマナーの基本
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員	○		
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

衣食住、ヒューマンサービスなどに関する生活産業やその職業への関心を持ち、必要な知識と技術を習得する。また、活用する意欲と態度を育む。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ①授業に真剣に取り組む。
- ②課題には必ず取り組み、提出日を守る。
- ③保育技術検定、造形表現技術3級に関する知識・技術を身に付ける。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・生活産業の職業に必要な基礎的な知識を身につけた。 ・衣食住、ヒューマンサービス等に関する生活産業や職業に関する基本的な内容を理解した。	社会における産業の変化について課題を見つけ、考え、表現することができた。	授業の記録を取り、発展させるために意欲的に授業に取り組んだ。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	オリエンテーション	小テスト・課題 1学期評価期間
	5	・学習内容の確認	
	6	第1章「生活産業基礎」を学ぶ	
	7	・生活産業の役割と産業構造の変化・職業人に求められるもの 第2章ライフスタイルの変化に対応した商品・サービスの提供 ・消費者ニーズの把握 関連法規 ・商品サービスの企画、開発、販売、提供 *家庭科保育技術検定造形表現技術について ・検定内容と折り紙（日本の折り紙辞典）	
二 学 期	8	課題学習→職業調べをしてみよう（発表）	小テスト・調べ学習・折り紙小テスト 2学期仮評価期間 2学期末評価期間
	9	第3食生活関連分野	
	10	第4章衣生活関連分野	
	11	第5章住生活関連分野	
	12	第6 ヒューマンサービス関連分野 （9月、2年保育コースの主導で保育講話の実施） *10月に産業現場見学実習実施（ホテルライフオート札幌） *12月保育技術検定造形表現技術検定3級の実施	
三 学 期	1	第7章なりたい自分になるために	小テスト 学期末評価期間
	2	・職業人に必要な資質とは	
	3	・将来の生活と学業	

教 科	家庭
科 目 名	課題研究
使用教科書	
副教材等	かんたん楽譜の読み方 指づかい付きバイエル
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース		○	
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- ①子どもの遊び、子どもの表現活動、児童文化財などに関する知識と技術の習得を目指す。
- ②子ども文化の充実を図る能力と態度を養う。
- ③主に子どもの遊び、音楽表現活動についての基礎となる知識と技術の習得に取り組む。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ①楽典の知識は繰り返し学習し、知識を活用し、ピアノ演奏、歌唱をする。
- ②ピアノの演奏技術向上に向け、授業以外での練習を積み重ねる。
- ③講義、保育実習や訪問活動などの体験的学習、学年を超えたグループ学習など学習形態が様々であることから、積極的主体的に取り組むことが望まれる。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	・演奏技術が向上したか。 ・正しい音程とリズムで歌唱できるか。 ・楽典の知識が理解できているか。 ・楽譜が読めるか。	・楽典の知識を応用し、演奏や歌唱ができるか。 ・曲の特徴をつかみ、表現力豊かに演奏できるか。	・ピアノを正しく弾こうとしているか。 ・実技・筆記問題を期限までにやって提出しているか。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	オリエンテーション 歌唱・ピアノ演奏 五線、音部記号、音名、変化記号、拍子、歌い方 家庭科保育技術検定音楽・リズム表現技術練習 縦線、音符、休符、バイエルNo.32まで	1学期評価期間
	5	楽典の知識 ピアノ演奏・歌唱 拍子、拍子記号、強起と弱起、バイエルNo.47まで 歌唱、検定模擬	
	6	楽典の知識 ピアノ演奏・歌唱	
	7	音楽・リズム表現技術検定4級 楽典の知識・ピアノ演奏 1学期のまとめ、バイエルNo.61まで、夏休みの宿題	
二 学 期	8	楽典の知識 ピアノ演奏・歌唱 音程、歌唱、バイエルNo.65まで オータムコンサート	保育特別実習 2学期仮評価期間
	9	音程、歌唱、バイエルNo.69まで 音程、歌唱、バイエルNo.75まで	
	10	関係調、転調と移調、検定模擬	2学期評価期間
	11		
12	2学期まとめ、冬休みの宿題		
三 学 期	1	楽典の知識 ピアノ演奏 バイエルNo.78まで、弾き歌い練習 バイエルNo.82まで、弾き歌い練習 バイエルNo.87まで、弾き歌い練習、春休み課題	学年末評価期間
	2		
	3		

教 科	家庭
科 目 名	課題研究
使用教科書	「調理1」(実教出版)
副教材等	オールガイド食品成分表(実教出版) 家庭科問題集 基礎編・食物編
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース		○	

### 1.学習目標

家政科の学習を通して得た食生活に関わる知識・技能を活かし、大量調理や食事提供等に関する実践的・体験的な学習を行うことを通じて、食生活関連産業における応用発展の関心を高め、主体的・協働的に取り組むことができる資質・能力を身につける

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・設定した課題について、調査研究・作品制作を行う
- ・情報収集、実習などを通して調査研究に取り組みまとめる
- ・食物調理技術検定合格(2級・準1級・献立作成)に向けて、課題に確実に取り組む。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	それぞれのテーマを元に、研究を行い、それを調理することができている。 集団調理と食品衛生について、企画・運営などの準備や実習を通して理解することができている。	テーマをもとに、試作を重ねて、問題点や改善点を考えていくことができている。 途中経過をポートフォリオとして作成できている。	調理実習で学んだ内容を活かして自ら課題を見つけ、積極的に取り組むことができている。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	オリエンテーション 調理研究	1 学期評価期間
	5	実施計画の検討 テーマ①「特別実習」「ことぶき大学コラボ」 「風街カフェコラボ」 情報収集・調査、企画、試作、準備	
	6		
	7		
二 学 期	8		2 学期仮評価期間
	9	実施・反省・まとめ	
	10	食物調理技術検定準1級 テーマ②「風街カフェコラボⅡ」「日常食(弁当) 献立」 情報収集・調査、試作、準備、企画	
	11		
期	12	食物調理技術検定準1級模擬・実施・まとめ	2 学期評価期間
三 学 期	1	テーマ③「合同授業企画運営」	学年末評価期間
	2	風街カフェコラボ・実施・反省・まとめ	
	3	合同授業・実施・反省・まとめ	
期		1年間のまとめ 反省・評価・次年次に向けて	

教 科	家庭
科 目 名	課題研究
使用教科書	
副教材等	バイエルピアノ教本/大人の楽典入門 家庭科保育技術検定過去問題集
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			○
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- ①子どもと遊び、子どもの表現活動、児童文化財などに関する知識と技術の習得を目指す。
- ②子ども文化の充実を図る能力と態度を養う。
- ③主に子どもの遊び、音楽表現活動についての知識と技術の習得に取り組む。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ①楽典の知識は繰り返し学習し、知識を活用しピアノ演奏、歌唱をする。
- ②ピアノ演奏技術向上に向け、授業以外での練習を積み重ねる。
- ③講義、保育実習や訪問活動などの体験的学習、学年を超えたグループ学習などと学習形態が様々であることから、積極的、主体的に取り組むことが望まれる。
- ④保育技術に関する意識・理解を深める。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	楽典の知識を理解しているか。 譜面が読めるか。 演奏技術が向上したか。 正しい音程とリズムで歌唱できるか。	楽典の知識を応用し、演奏や歌唱ができるか。 曲の特徴をつかみ、表現力豊かに演奏できるか	ピアノを正しく弾こうとしているか。 実技・筆記課題を期限までにできているか、やって提出しているか。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	オリエンテーション	保育特別授業 1学期評価期間
	5	楽典の知識・ピアノ演奏・弾き歌い 子どもの身体表現活動と発達、音階、バイエルNo.90まで 家庭科保育技術検定 音楽・リズム部門練習 歌う、踊る、演奏する、和音、和音の種類、弾き歌い練習	
	6	バイエルNo.93まで 検定模擬、弾き歌い練習	
	7	バイエルNo.97まで 検定模擬、弾き歌い練習	
二 学 期	8	検定模擬、弾き歌い練習 バイエルNo.99まで	卒業制作発表会準備（12月まで）  2学期仮評価期間  2学期評価期間
	9	検定模擬、弾き歌い練習 バイエルNo.102まで	
	10	検定模擬、弾き歌い練習 バイエルNo.104まで	
	11	卒業制作発表会準備	
12	卒業制作発表会		
三 学 期	1		学年末評価期間
	2	2年間のまとめ	
	3		

教 科	家庭
科 目 名	課題研究
使用教科書	なし
副教材等	調理1 2023オールガイド食品成分表
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			○

### 1.学習目標

食生活に関わる分野において、体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付ける。食生活に関する課題を発見し、生活産業を担う職業人として解決策を探求し、創造的に解決する力を養う。課題解決する力の向上を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・設定した課題について、調査研究・作品制作を行う
- ・情報収集、実習などを通して調査研究に取り組みまとめる
- ・卒業制作発表会などを研究成果の場とする

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	家政科に関する科目等で身に付けた知識・技術などを活用し、多面的・多角的に分析し、理論と関連付ける。科学的な根拠に基づいて解決策を考察できる。。	自らの考えを表現し、議論し、協働的に課題解決に向けて取り組むことができる。研究の成果について効果的に表現し、発表することができる。	主体的かつ周囲の人々と協働して取り組むことができる。学習計画に基づいて学習を進めることができる。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	<b>【課題研究について】</b> ・年間の学習内容について、理解を深める。 ・学習の意義や内容、評価の方法を理解する。 <b>【大量調理実習① 学食ランチ・間借りカフェランチ①】</b> ・大量調理について学び、今まで学んだ食の知識と技術を応用・発展した献立を研究・作成する。 ・テーマを決定し、テーマに沿った運営を研究し、計画を立てる。 ・献立作成のための材料の選び方などを学ぶ ・テーブルコーディネートのデザインの決定・制作	行動確認 レポート  1学期末評価期間
	5		
	6		
	7		
二 学 期	8	<b>【大量調理実習② ミニ学食ランチ・間借りカフェランチ提供・卒業制作】</b> ・大量調理について学び、今まで学んだ食の知識と技術を応用・発展した献立を研究・作成する。 ・テーマを決定し、テーマに沿った運営を研究し、計画を立てる。 ・献立作成のための材料の選び方などを学ぶ ・テーブルコーディネートのデザインの決定・制作 ・テーブルセッティング及び、サービスの方法を学ぶ ・当日の配膳計画・運営計画を立てる	行動確認 レポート 2学期中間評価期間  行動確認 レポート 2学期末評価期間
	9		
	10		
	11		
	12		
三 学 期	1	<b>【学習のまとめ】</b>	行動確認 レポート  学年末評価期間



教 科	家庭
科 目 名	生活産業情報
使用教科書	7実況家庭704 生活産業情報
副教材等	ビジネス文書実務検定試験問題集3級/2級
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員	○		
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- 1 社会における情報化の進展とそれによる問題点を理解し、モラルを身につける。
- 2 コンピュータに関する基本的な知識・技術を身につけ、適切な情報の収集・分析・処理・発信方法を習得する。
- 3 全国商業高等学校協会主催ビジネス文書実務検定3級・2級の取得を目指す

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	

### 3.学習の留意点

- ①検定取得を目指し、技術向上に向けて取り組むこと。
- ②課題は必ず取り組み、実技の授業では毎回課題を提出すること。
- ③情報処理室の使用ルールを守ること。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	情報社会について基本的な知識・技術を理解している。 情報機器や情報通信ネットワーク、アプリケーションソフトの操作技術を習得している。	コンピュータの操作を理解し、目的に適した選択・処理ができる。	情報社会に対して関心を持ち、積極的に知識と技術を習得しようとしている。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	【情報の処理・分析・発信 日本語ワードプロセッサの概要】 ・日本語ワードプロセッサ (Word)の概要を理解し、操作方法を習得する。  【ワープロの利用・活用】 ・ビジネス文書実務検定3級受験のための練習  【ワープロの利用・活用】 ・ビジネス文書実務検定2級受験のための練習	行動観察 提出物 小テスト
	5		
	6		
二 学 期	7	【表計算ソフトの利用・活用】 ・表計算ソフト (Excel) について理解し、基本操作を身につける。 ・データを分析し、表計算ソフトを効果的に活用する。 【プレゼンテーションの概要、スライドの作成の基本操作、演出】 ・プレゼンテーションソフト (PowerPoint) の概要を知り、操作方法を身につける。 【情報モラルとセキュリティ】 ・インターネットによるトラブル、ネットワーク社会のモラルとマナーを知る。 ・個人情報の取り扱いについて理解する。 ・知的財産権・肖像権、情報関連の法律と制度を知る	行動観察 提出物 小テスト
	8		
	9		
	10		
	11		
三 学 期	12	【プログラミング】 ・情報を処理するためのプログラムを作成する知識と技術を習得し、プログラムの役割や重要性について理解する。	行動観察 提出物 小テスト
	1		
	2		

教 科	家庭
科 目 名	保育基礎
使用教科書	保育基礎（実教出版）
副教材等	保育基礎学習ノート
単 位 数	5

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース		○	
	食物調理コース			

### 1.学習目標

子どもと遊び・子どもの表現活動・児童文化などに関する知識と技術の習得を目指し、総合的な能力を保育実習で実践できる。
---

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

①講義、VTR視聴、保育実習や訪問活動などの体験的学習、学年を超えたグループ学習など学習形態が様々であることから、積極的に取り組む。
②保育技術に関する意識・理解を深める。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・造形、言語、音楽、身体などの表現活動技術や習得した知識・技能を生かし活動している。・子どもの発達と児童文化財の重要性を知識として理解している。	・子どもの発達段階を考え、習得した知識や技術を総合的に判断し、表現手段を選択している。	・課題や体験学習などに関心を持ち、意欲的に取り組んでいこうとする姿勢が見られ、工夫し創造しようとしている。・課題の提出期限を守ることなど、保育者として求められる行動を身に付けようとしている。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	オリエンテーション	小テスト・課題 1学期評価期間
	5	・学習の進め方	
	6	2章 子どもの発達	
	7	・子どもの発達の特性、からだの発達、心の発達 3章 子どもの生活 ・生活と養護、生活習慣の形成、健康管理と事故防止 * 保育実習に向けて（9月の幼稚園実習に向けて）、子育てサロン実習 * 保育技術検定造形表現2級、言語表現3級の練習を5月より始める。検定は7月実施。	
二 学 期	8	* 保育実習に向けての心構えなど	小テスト 2学期仮評価期間 2学期末評価期間
	9	* 保育実習（9月10～12日）保育講話の準備と実施	
	10	4章子ども文化	
	11	・子ども文化の意義と支える場	
	12	・子どもの遊びと表現活動 * 保育技術検定造形表現準1級、言語表現2級の練習を9月下旬より始める。検定は11月実施	
三 学 期	1	1章保育の環境	小テスト 学期末評価期間
	2	・家庭保育と集団保育	
	3	* 次年度の保育実習に備えて準備を始める。造形表現技術検定1級、言語表現技術検定準1級の模擬練習。	

教 科	家庭
科 目 名	保育実践
使用教科書	保育実践(文部科学省出版)
副教材等	家庭科保育検定問題集
単 位 数	8

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			○
	食物調理コース			

### 1.学習目標

子どもの表現活動や子育て支援において体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。保育や子育て支援に関する課題を発見し、子どもを取り巻く環境の変化に対応した保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。保育の充実を目指して自ら学び、保育や子育て支援の実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ①設定した課題について、調査研究・卒業制作を行う。
- ②情報収集、実習などを通して調査研究に取り組みまとめる。
- ③卒業制作発表会を研究成果や作品制作の発表の場とする。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	保育実習において子ども達に働きかけをすることができる。職業人としての自覚を持ち、責任ある行動ができる。保育の意義を理解できる。	前年度の保育実習の経験から実習の目標を考え実施計画を考えることができる。研究の成果について効果的に表現し、発表することができる。	主体的にかつ周囲の人々と協働して取り組むことができる。学習計画に基づいて学習を進めることができる。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	オリエンテーション 学習の意義、学習の報告、評価の方法を理解する 家庭科保育技術検定 造形表現 準1級・1級/言語表現 準1級 練習 保育実習 企画・立案・内容検討・計画書の作成・作品制作	1学期評価期間
	5	設定保育の指導案 作成	
	6		
	7	保育実習(夢の国幼稚園・おとぎの国幼稚園) 実習のまとめ・反省 お礼状作成 家庭科保育技術検定 模擬	
二 学 期	8	卒業制作発表会の実施計画 企画・立案・内容検討・計画書の作成・作品制作 家庭科保育技術検定 言語表現1級 練習	2学期仮評価期間
	9		
	10		
	11		
期	12	卒業制作発表会 実践・振り返り	2学期評価期間
	三 学 期	2年間のまとめ	学年末評価期間
	2		
	3		

教 科	家庭
科 目 名	生活と福祉
使用教科書	生活と福祉 (実教出版)
副教材等	
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース		○	
	食物調理コース			

### 1.学習目標

人の一生と生活・健康について学び、自分の将来を創造しより良い生活を営む力を養う。また、高齢者の現状をしり、生活の中で生かしていく能力を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ①講義、調べ学習などで主体的な学習を実施する。積極的に取り組むことで知識や技術が身に付き理解を深める。  
 ②忘れ物をしない。授業に真剣に取り組む。提出物などの約束を守る。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・習得した知識・技能を生かし技術が身についたか。	・高齢者の現状と高齢者の特徴を理解し行動にうつす事ができたか。・子どもの発達段階を考え、習得した知識や技術を総合的に判断し、表現手段を選択している。	・課題や体験学習などに関心を持ち、意欲的に取り組んでいこうとする姿勢が見られ、工夫し創造しようとしている。 ・課題の提出期限を守り、深	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	オリエンテーション	小テスト・課題 1学期評価期間
	5	・学習の進め方	
	6	第1章 健康と生活	
	7	第2章 少子高齢化の現状と高齢者の特徴 第3章 高齢者の自立支援 * 保育技術検定家庭看護3級に向けて（乳幼児の抱き方、検温など）検定は7月実施 定は7月実施。	
二 学 期	8	第4章 高齢者支援の法律と制度	小テスト 2学期仮評価期間 2学期末評価期間
	9	第5章 介護の実習	
	10	* 保育技術検定家庭看護検定2級の練習を9月下旬より始める。検定は11月実施	
	11		
	12		
三 学 期	1	第6章 看護の実習	小テスト 学期末評価期間
	2	* 次年度の保育技術検定家庭看護検定準1級の練習を始める。	
	3		

教 科	家庭
科 目 名	生活と福祉
使用教科書	生活と福祉(実教出版)
副教材等	生活と福祉学習ノート
単位数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			○
	食物調理コース			

### 1.学習目標

高齢者の健康と生活、介護などについて体系的、系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。家族や地域の人々の豊かな実現を目指して自ら学び高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。高齢者の健康と生活、介護に関する課題を発見し、職業人として合理的、協働的に解決する力を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・忘れ物をしない。授業に真剣に取り組む。提出物などの約束を守る。
- ・家庭看護技術に関する意識・理解を深める。
- ・実習などの体験学習やグループ学習などに積極的、主体的に取り組む。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	福祉に対する重要性を知識として理解している。各場面に応じた適切な家庭看護技術がミニついている。	自らの考えを表現し、議論し、協働的に課題解決に向けて取り組むことができる。研究の成果について効果的に表現し、発表することができる。	主体的かつ周囲の人々と協働して取り組むことができる。学習計画に基づいて学習を進めることができる。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	実施計画の検討 オリエンテーション	1学期評価期間
	5	高齢化の現状・特徴 高齢化の現状・高齢者の心身の特徴と病気・生活課題・施策	
	6	高齢者の自立生活支援 自立生活支援の基本・高齢者介護	
	7	家庭看護技術検定準1級対策・模擬	
二 学 期	8		2学期仮評価期間
	9	高齢者支援の法律と制度 社会保障制度と高齢者福祉のあゆみ・介護保険制度	
	10	高齢者支援と地域包括ケアシステム	2学期評価期間
	11	生活支援 生活支援の考え方 ・衣食住の生活環境	
	12	家庭看護技術検定1級対策 ・模試	
三 学 期	1	レクリエーションの意義と目的 ・活動種目 ・実習	学年末評価期間

教 科	家庭
科 目 名	フードデザイン
使用教科書	フードデザイン（教育図書）
副教材等	2024オールガイド食品成分表 フードデザインワークノート 家庭科問題集（基礎編・食物編）
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース		○	

### 1.学習目標

栄養、食品、献立、テーブルコーディネート等に関する知識と技術を習得し、食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を身につける。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・授業は真剣に取り組む。
- ・話をよく聞き、プリント類やノート・ファイル整理は、各自でしっかりと行う。
- ・忘れ物はしない。課題のプリントは必ず取り組み、期限を守って提出する。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	栄養や調理、食品に関する基本的な内容を理解し、自分の知識として身につける。 食事計画・献立を作成できる。テーブルコーディネートについて取り組むことができ	健康を維持するためには、どのような食生活を送ったらよいかの判断をすることができる。	授業の記録をきちんととり、意欲的に授業に取り組んでいるか。食をめぐる問題点を把握し、より良い食生活に改善しようとする努力ができる。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	第1章 健康と食生活 オリエンテーション 家庭科問題集基礎編	1学期評価期間
	5	1 食事の意義と役割 2 食を取り巻く現状	
	6	第2章 栄養素と食品 1 栄養素と消化・吸収 食物調理技術検定模擬	
	7	2 各栄養素の働き 家庭科問題集食物編	
二 学 期	8	献立作成 日常食の献立	2学期仮評価期間
	9		
	10	第2章 栄養素と食品 3 食品とその特徴 食品実験	2学期評価期間
	11	食物調理技術検定模擬	
12	4 何をどれだけ食べる		
三 学 期	1	第3章 食品の選択と取り扱い 1食品選択のコツ 2 食の衛生と安全 3 食の安全を考えて学ぼう	学年末評価期間 コックタイ製作
	2	合同授業のテーブルコーディネート	
	3	まとめ 合同授業	

教 科	家庭
科 目 名	服飾手芸
使用教科書	なし
副教材等	なし
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			○
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

手芸の種類と特徴及び関する基礎的・基本的な知識と技術を学び、手芸品を創造的に制作し、日常生活の中で活用する能力と態度を身につける

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・授業に真剣に取り組む（協調性や協力性、指示通りの行動、後片付け等）
- ・実習時のまとめを毎回必ず提出する
- ・技術を定着させるため、復習する

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	手芸の種類、特徴、変遷などに関する知識や技能の基礎を身につけている	各種の手芸の技法について思考を深め、生活に活かせるように実習活動を計画し、実践することができる	服飾手芸について関心を持ち、実習に主体的に取り組むとともに、その活用について考え、実践することができる	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	「服飾手芸について」 オリエンテーション・手芸の種類と特徴 「ステンシル」 ステンシルの基本 実習1 ステンシルの袋製作	1学期評価期間
	5	「家庭科技術検定被服3級」 実習2 基礎縫いの学習	
	6	実習3 ミシンの基礎・ポケットティッシュケース製作	
	7	「和裁」 和裁の基礎（和服のたたみ方・着方） 実習4 甚平製作	
二 学 期	8	「編み物」 実習5 棒編み・かぎ針・指編みの基礎 自由作品製作	2学期仮評価期間
	9		
	10		
	11		
期	12	2学期評価期間	
	1	「まとめ」 製作物発表会	学年末評価期間
三 学 期	2		
	3		

教 科	家庭
科 目 名	食文化
使用教科書	なし
副教材等	オールガイド食品成分表（実教出版） 家庭科問題集 食物編
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			○

### 1.学習目標

- ・食文化とは何なのか、人類の歴史の中でどのように展開してきたか、現代の食文化はどのような事態を迎えているかについて理解する。
- ・食文化の継承者として、世界の料理と食文化がどのような物か学ぶ。
- ・伝統的調理技術や調理様式などを受け継ぎ、新たな調理方法を創造することにより、食文化継承の役割を担う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・授業に真剣に取り組む
- ・課題プリントには必ず取り組み、期限を守って提出する
- ・実習後のまとめは丁寧に記入する

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	学習内容を正しく理解し、自分の知識として身につけ応用することができたか 食品や調理用具を適切に取り扱い調理し、調理技術を習得し応用することができたか	条件にあった課題作成ができたか 実習内容、ポイントについてまとめることができたか	食文化に対する興味関心を持ち、積極的に授業や実習に取り組んでいるか 身支度、衛生管理等、実習の準備ができていますか	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	オリエンテーション・食と文化 食文化の成り立ち、多様な食文化 食文化の共通点と国際化	1学期評価期間
	5	行事食と郷土料理 日本行事食と郷土料理の特徴と調理方法を学ぶ 調理実習	
	6		
	7		
二 学 期	8	世界の料理と食文化 世界の料理の変遷・特徴・様式・食事作法、調理方法を学ぶ	2学期仮評価期間
	9		
	10		
	11		2学期評価期間
	12		
三 学 期	1	まとめ 学習のまとめ	学年末評価期間
	2		
	3		



教 科	家庭
科 目 名	調理
使用教科書	「調理1」
副教材等	オールガイド食品成分表（実教出版） 家庭科問題集 基礎編・食物編
単 位 数	5

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース		○	

### 1.学習目標

- ・調理の基礎、献立作成及び様式別調理などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- ・食生活の現状から調理に関する課題を発見し、調理を通して食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ・調理の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、創造的な調理に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・教科書・ノートを用意する。
- ・話をよく聞き、プリント類やノート・ファイル整理は各自でしっかりと行う。
- ・忘れ物はしない。提出物は、期限を守る。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	食品や調理用具を適切に取り扱い調理し、食物調理技術検定2・3級に相当する調理技術を習得し応用することができる。 調理の特徴、種類、特性などを理解し、自分の知識として身につけて応用することができる。	条件にあった献立作成ができてい る。 実習内容、ポイントについてまとめ ることができる。	調理に対する興味関心を持 ち、積極的に授業や実習に取 り組んでいる。 身支度等実習の準備ができて いる。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	調理の基本 オリエンテーション、調理の基本	1学期評価期間
	5	日常食の調理 調理法の特徴・食品の調理上の性質・実習 検定実技練習	
	6	特別実習・ことぶき大学コラボ試作・改善 風街カフェコラボ試作・改善	
	7	食物調理技術検定2級模擬	
二 学 期	8	日本・西洋・中国料理の 特徴と調理	2学期評価期間
	9	特別実習・ことぶき大学コラボ・風街カフェコラボ 合同授業・風街カフェコラボ試作・改善	
	10		
	11		
三 学 期	12	食物調理技術検定準1級模擬	2学期評価期間
	1		学年末評価期間
	2	風街カフェコラボ	
3	合同授業 運営		

教 科	家庭
科 目 名	調理
使用教科書	調理1 (実教出版)
副教材等	2023オールガイド食品成分表 令和6年度 家庭科問題集 食物編
単 位 数	5

		対象生徒		
		一学年	二学年	三学年
普 通 科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家 政 科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			○

### 1.学習目標

- ・調理の基礎、献立作成及び様式別調理などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
- ・課題を発見し、調理を通して食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決するの力を養う。
- ・調理の面から食生活の充実の向上を目指して自ら学び、創造的な調理に主体的かつ協働的に取り組む態度

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・常に安全で衛生面に配慮して実習を行う。
- ・協調性や協働性をもって、積極的に授業に取り組む。
- ・食物に関する意識・理解を深め、課題に確実に取り組む。(食物調理技術検定1級の取得を目指す)

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	
評価方法	調理の基礎について理解し、関連する技術を身に付けている	条件にあった献立作成ができたか。実習内容についてまとめることができる。課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。	調理に対する興味関心を持ち、積極的かつ協働性をもって授業や実習に取り組んでいる。	A:十分満足できる状況	三観点を総括して5段階で評価する。
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	【「調理」の学習について】 ・学習の意義や内容・方法、評価を理解する。	行動観察 献立表分析 レポート・筆記試験 1学期末評価期間
	5	【大量調理、食品衛生、調理の効率化(学食ランチ、間借りカフェランチ①)】 ・行事等での大量調理を考え献立を作成する。	
	6 7	・大量調理に際して、食品衛生への理解を深め、安全で能率的な調理方法を学び、実践できるようにする。 ・効率的な機器の利用について考える。  【応用食・行事食の献立作成と調理、食物調理技術検定1級受験のための練習】 ・課題に応じた応用食・行事食等の献立作成、及び調理ができるようにする。 ・自らたてた献立を準備し時間内に完成させる。	
二 学 期	8	【大量調理、食品衛生、調理の効率化(ミニ学食ランチ、間借りカフェランチ②)】 ・行事等での大量調理を考え献立を作成する。	行動観察 献立表分析 レポート・筆記試験 2学期中間評価  行動観察 献立表分析 レポート・筆記試験 2学期期末評価
	9	・大量調理に際して、食品衛生への理解を深め、安全で能率的な調理方法を学び、実践できるようにする。	
	10 11 12	・効率的な機器の利用について考える。  【卒業制作の献立実習】 ・今まで学んだことを応用し、応用食にふさわしい献立を作成し、テーマに合った食卓の整え方や周囲の環境づくりができるように企画立案、発表(実習)する。	
三 学 期		【学習のまとめ】 2年間のまとめ	行動観察 レポート・筆記試験 学年末評価期間

教 科	家庭
科 目 名	総合調理
使用教科書	全国調理師養成施設協会 総合調理実習
副教材等	
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			○

### 1.学習目標

大量調理や食事提供等に関する知識や技術を活用し、食生活関連産業における応用発展の関心を高め、主体的・協働的に取り組むことができる資質・能力を身に付ける。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・常に安全で衛生面に配慮して実習を行う。
- ・協調性や協働性をもって、積極的に授業に取り組む。
- ・大量調理に関する意識・理解を深め、課題に確実に取り組む。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	大量調理や食事提供に必要な知識や技術について身に付けている。献立の立て方、発注、計算ができる。	望ましい調理と食事提供について、課題意識を持ちながら協議し、取り組むことができる。運営の際、全体の動きを理解・判断し、取り組むことができる。	大量調理について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	【集団調理実習について】 ・食材の扱い方や適した調理法を理解する。	行動観察 献立表分析 レポート 1学期末評価期間
	5	【集団調理実習・大量調理献立（学食ランチ・間借りカフェランチ①）】 ・食材の扱い方や適した調理法を理解する。	
	6	・大量調理の特徴と調理技術について、食材の扱い方や適した調理法を理解し、調理する。	
	7	・衛生的に食材を扱う。 ・大量調理の管理と運営などに関する知識を学び、実践する。	
二 学 期	8	【集団調理実習・大量調理献立 （ミニ学食ランチ・間借りカフェランチ②・卒業制作発表会）】	行動観察 献立表分析 レポート 2学期中間評価  行動観察 献立表分析 レポート 2学期期末評価
	9	・食材の扱い方や適した調理法を理解する。	
	10	・大量調理の特徴と調理技術について、食材の扱い方や適した調理法を理解し、調理する。	
	11	・衛生的に食材を扱う。 ・大量調理の管理と運営などに関する知識を学び、実践する。	
12	・料理を提供する上で、食事環境とサービスが重要であることを理解し実践できる。		
三 学 期	1	【学習のまとめ】	行動観察 レポート 学年末評価期間

学科	普通科
----	-----

### I 本校における「総合的な探究の時間」の目標

地域探究活動を通して、他者や社会とかかわることで人間として尊重しあい、他者と協働しながら探究し、課題の解決能力を育成するとともに、自らの将来と関連させながら目標を設定し、自ら進んで学習できるようにする。

### II 本校において「総合的な探究の時間」で探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力

1 知識及び技能	2 思考力、判断力、表現力等	3 学びに向かう力、人間性等
テーマに応じた課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、探求の意義や価値を理解できるようになるとともに、身に付けた力を自己実現や地域社会の発展に向けて活用することができるようになる。	実社会や実生活と自己の関わりから問いを見出し、自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析してまとめ、課題解決に向けて相手や目的、意図に応じて表現することができるようになる。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、自己の役割を見つけ、また互いの良さを生かしながら、積極的に参画・貢献することで新たな価値を創造しようとする力を身に付ける。

### III 「総合的な探究の時間」の年間指導計画の概要（「総」は総合的な探究の時間の時数、「代」は代替する科目の時数）

目標を実現するにふさわしい探究課題	1 学年 (2単位)		2 学年 (1単位)		3 学年 (1単位)		4 学年 (単位)		
	ア イ ウ エ オ		ア イ ウ エ オ		ア イ ウ エ オ		ア イ ウ エ オ		
月	内容	時数		内容	時数		内容	時数	
		総	代		総	代		総	代
4	オリエンテーション	1		オリエンテーション	1		進路探究活動	3	
	プレゼン、レポートの書き方	2		キャリア学習	2				
5	渉外マナーについて	2		リフレクション	1				
	体験先下調べ	2							
6	体験学習	2		課題の再設定	1		進路探究活動	12	
	振り返り	2		ブレインストーミング	2				
7	キャリア教育	2		キャリア学習	1				
	キャリア教育	7		キャリア教育	3		進路探究活動	5	
8				リフレクション	1				
	キャリア教育	4		実践活動	2		進路探究活動	4	
9				実践活動	1				
	キャリア教育	2		夏休みの計画	1				
10				実践活動	1				
	キャリア教育	3					探究活動	3	
11	ブレインストーミング	1		実践活動	2				
	KJ法	1			1				
12	面談	2							
	リフレクション	1							
1	キャリア教育	3		実践活動	3		探究活動	3	
	ブレインストーミング	1							
2	グルーピング	2							
	振り返り面談	1							
3	レポート作成	1							
	リフレクション	1		実践活動	4				
4	オリエンテーション	1							
	実践活動	8							
5	実践活動	4							
	振り返り面談	1		振り返り面談・レポート作成	1				
6	レポート作成	1		リフレクション	1				
	リフレクション	1		発表スライド作成	1				
7	発表スライド作成	3							
	発表スライド作成	2		発表スライド作成	2				
8	発表会(12年合同)	2		発表会(12年合同)	2				
	リフレクション	1		総発表会(12年合同)	1				
9	発表会振り返り面談	1							
	次年度の計画	1							
10	総発表会(12年合同)	1							
	合計	70		合計	35		合計	30	

### IV 「総合的な探究の時間」の代替の場合

代替する教科・科目	教科名	科目名	実施単位数	単位
代替する単位	1	一部（「総合的な探究の時間」（ ）単位のうち、上記科目で（ ）単位を代替）		
	2	全部（「総合的な探究の時間」（ ）単位の全部を代替）		

- (注) 1 「目標を実現するにふさわしい探究課題」とは、目標の実現に向けて学校として設定し、生徒が探究に取り組むためのものであり、横断的・総合的な学習としての性格をもち、探究の見方・考え方を働かせて学習することがふさわしい、教育的に価値のある諸課題のこと。
- 2 「目標を実現するにふさわしい探究課題」の欄には、学年ごとの探究課題を簡潔に記載するとともに、次のア～オに該当するものの記号に○を入力すること。
- ア 国際理解、情報、環境、福祉・健康などの現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題
- イ 地域や学校の特色に応じた課題
- ウ 生徒の興味・関心に基づく課題
- エ 職業や自己の進路に関する課題
- オ その他
- 3 各学校で作成している「総合的な探究の時間」（任意様式）の各学年の計画表を添付すること。
- 4 学科により目標や内容等が異なる場合は、学科ごとに（裏面）を作成すること。
- 5 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

I 本校における「総合的な探究の時間」の目標

各種行事や競技会への挑戦を通して、科学性（筋道を立てて考え行動したり、身につけた知識と技術を応用して的確に問題を解決したりできる能力）・社会性（協力して物事を行う力を養ったり、地域社会に参加し、広く公共に奉仕する精神を養ったりする）・指導性（他人の意見を正しく理解し、自分の意見を積極的に述べ、集団の考え方や行動を正しく導く力）を高める。

II 本校において「総合的な探究の時間」で探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力

1 知識及び技能	2 思考力、判断力、表現力等	3 学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分に与えられた仕事をやり遂げられる</li> <li>他人に仕事を教えられる</li> <li>PC等を使って、学習内容を分かりやすくまとめる</li> <li>身につけた力を自己実現や地域社会の発展に向けて活用することができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ内で議論ができる</li> <li>今、自分が取り組んでいることを他人に説明できる</li> <li>レポートの内容（考察等）</li> <li>自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析して目的に向かって行動を始められる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事等に積極的に取り組む（私語・姿勢・音量等）</li> <li>仲間と協力して取り組む（準備・片付け）</li> <li>課題を最後までやり遂げる</li> <li>仲間の良いところを見つけられる</li> </ul>

III 「総合的な探究の時間」の年間指導計画の概要（「総」は総合的な探究の時間の時数、「代」は代替する科目の時数）

月	1 学年 (1単位)		2 学年 (1単位)		3 学年 (1単位)		4 学年 (単位)	
	内容	時数 総 代	内容	時数 総 代	内容	時数 総 代	内容	時数 総 代
	農ク入会式・対面式 意見発表について	2 2	農ク入会式・対面式 意見発表について	2 2	農ク入会式・対面式 進路①②	2 2		
5	農ク年度始め総会 自己理解 農ク意見発表大会 苗販売会	1 1 4 2	農ク年度始め総会 校外進路学習振り返り 農ク意見発表大会 苗販売会	1 1 4 2	農ク年度始め総会 校外進路学習振り返り 農ク意見発表大会 進路③ 苗販売会 進路④⑤⑥	1 1 4 1 2 3		
6	南連意見発表大会当番校運営	6	南連意見発表大会当番校運営	6	南連意見発表大会当番校運営	6		
7	農ク技術競技大会 自己理解	2 1	農ク技術競技大会 夏休みの活動について	2 1	進路⑦ 農ク技術競技大会	1 2		
8	当別町の歴史	1			当別町企業説明会 進路⑧	2 1		
9	ライフポート花壇造成Ⅲ 当別町の特産品	2 1	ライフポート花壇造成Ⅲ インターンシップ 事前指導 インターンシップ インターンシップ 事後指導	2 2 3 2				
10	当別町の特産品	2	進路探究	1				
11	収穫感謝祭 農ク役員選挙 当別町の特産品	2 1 2	農ク役員選挙	1				
12	農ク校内実績発表大会 合同合格体験講話	2 1	農ク校内実績発表大会 合同合格体験講話	2 1	農ク校内実績発表大会 合同合格体験講話	2 1		
2	専攻班活動の説明	1						
合計		37		35		31		

IV 「総合的な探究の時間」の代替の場合

代替する教科・科目	教科名	科目名	実施単位数	単位
代替する単位	1	一部（「総合的な探究の時間」（ ）単位のうち、上記科目で（ ）単位を代替）		
	2	全部（「総合的な探究の時間」（ ）単位の全部を代替）		

- (注) 1 「目標を実現するにふさわしい探究課題」とは、目標の実現に向けて学校として設定し、生徒が探究に取り組むためのものであり、横断的・総合的な学習としての性格をもち、探究の見方・考え方を働かせて学習することがふさわしい、教育的に価値のある諸課題のこと。
- 2 「目標を実現するにふさわしい探究課題」の欄には、学年ごとの探究課題を簡潔に記載するとともに、次のア～オに該当するものの記号に○を入力すること。
- ア 国際理解、情報、環境、福祉・健康などの現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題
  - イ 地域や学校の特色に応じた課題
  - ウ 生徒の興味・関心に基づく課題
  - エ 職業や自己の進路に関する課題
  - オ その他
- 3 各学校で作成している「総合的な探究の時間」（任意様式）の各学年の計画表を添付すること。
- 4 学科により目標や内容等が異なる場合は、学科ごとに（裏面）を作成すること。
- 5 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

学科	家政	科
----	----	---

### I 本校における「総合的な探究の時間」の目標

探究活動や家庭クラブ活動を通して、他者や社会とかがかわることで人間として尊重しあい、他者と協働しながら探究し、課題の解決能力を育成するとともに、自らの生活や将来と関連させながら目標を設定し、自ら進んで学習できるようにする。

### II 本校において「総合的な探究の時間」で探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力

1 知識及び技能	2 思考力、判断力、表現力等	3 学びに向かう力、人間性等
テーマに応じた課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、探求の意義や価値を理解できるようになるとともに、身に付けた力を自己実現や家庭生活・地域社会の発展に向けて活用することができるようになる。	実社会や実生活と自己の関わりから問いを見出し、自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析してまとめ、課題解決に向けて相手や目的、意図に応じて表現することができるようになる。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、自己の役割を見つけ、また互いの良さを生かしながら、積極的に参画・貢献することで新たな価値を創造しようとする力を身につけようとしている。

### III 「総合的な探究の時間」の年間指導計画の概要（「総」は総合的な探究の時間の時数、「代」は代替する科目の時数）

目標を実現するにふさわしい探究課題	1 学年 (1単位)		2 学年 (1単位)		3 学年 (1単位)		4 学年 (単位)		
	ア イ ウ ヨ オ		ア イ ウ ヨ オ		ア イ ウ ヨ オ		ア イ ウ エ オ		
月	内容	時数		内容	時数		内容	時数	
		総	代		総	代		総	代
4	オリエンテーション	1		オリエンテーション	1		進路探究学習	3	
	家庭クラブ総会・入会式	1		家庭クラブ総会・入会式	1		家庭クラブ総会・入会式	1	
5	問題解決学習	3		問題解決学習	3		進路探究学習	5	
	キャリア教育学習	2		キャリア教育学習	2		保育実習・特別実習	5	
6	キャリア教育学習	3		キャリア教育学習	3		進路探究学習	3	
	高齢者福祉施設訪問	3		高齢者福祉施設訪問	2				
7	キャリア教育学習	1					進路探究学習	6	
	家庭クラブ活動	1		家庭クラブ活動	2				
8	課題解決学習	1		課題解決学習	1				
9	課題解決学習	1		課題解決学習	1				
				保育実習・特別実習	5				
10	キャリア教育学習	2		問題解決学習	3				
	産業現場実習	2							
	家庭クラブ役員選挙	1		家庭クラブ役員選挙	1		家庭クラブ役員選挙	1	
11	高齢者福祉施設訪問	3		高齢者福祉施設訪問	2		高齢者福祉施設訪問	3	
	校内研究発表大会	2		校内研究発表大会	2		校内研究発表大会	2	
	進路探究活動	1		進路探究活動	1		進路探究活動	1	
12	卒業制作発表会見学	1		卒業制作発表会見学	1				
	卒業式・入学式・学科紹介準備	1		卒業式・入学式・学科紹介準備	1		活動の振り返り	1	
1	卒業式・入学式・学科紹介準備	2		卒業式・入学式・学科紹介準備	2				
2	卒業式・入学式・学科紹介準備	3		卒業式・入学式・学科紹介準備	4				
3	活動の振り返り	1		活動の振り返り	1				
合計		36			39			31	

### IV 「総合的な探究の時間」の代替の場合

代替する教科・科目	教科名	科目名	実施単位数	単位
代替する単位	1	一部（「総合的な探究の時間」（ ）単位のうち、上記科目で（ ）単位を代替）		
	2	全部（「総合的な探究の時間」（ ）単位の全部を代替）		

- (注) 1 「目標を実現するにふさわしい探究課題」とは、目標の実現に向けて学校として設定し、生徒が探究に取り組むためのものであり、横断的・総合的な学習としての性格をもち、探究の見方・考え方を働かせて学習することがふさわしい、教育的に価値のある諸課題のこと。
- 2 「目標を実現するにふさわしい探究課題」の欄には、学年ごとの探究課題を簡潔に記載するとともに、次のア～オに該当するものの記号に○を入力すること。
- ア 国際理解、情報、環境、福祉・健康などの現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題
  - イ 地域や学校の特色に応じた課題
  - ウ 生徒の興味・関心に基づく課題
  - エ 職業や自己の進路に関する課題
  - オ その他

- 3 各学校で作成している「総合的な探究の時間」（任意様式）の各学年の計画表を添付すること。
- 4 学科により目標や内容等が異なる場合は、学科ごとに（裏面）を作成すること。
- 5 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。



